

# 令和2年度 高島市立学校 学校教育到達目標

|         |       |    |
|---------|-------|----|
| マキノ東小学校 | ..... | 1  |
| マキノ西小学校 | ..... | 2  |
| マキノ南小学校 | ..... | 3  |
| マキノ中学校  | ..... | 4  |
| 今津東小学校  | ..... | 5  |
| 今津北小学校  | ..... | 6  |
| 今津中学校   | ..... | 7  |
| 朽木東小学校  | ..... | 8  |
| 朽木西小学校  | ..... | 9  |
| 朽木中学校   | ..... | 10 |
| 安曇小学校   | ..... | 11 |
| 青柳小学校   | ..... | 12 |
| 本庄小学校   | ..... | 13 |
| 安曇川中学校  | ..... | 14 |
| 高島小学校   | ..... | 15 |
| 高島中学校   | ..... | 16 |
| 新旭南小学校  | ..... | 17 |
| 新旭北小学校  | ..... | 18 |
| 湖西中学校   | ..... | 19 |

〈児童生徒の実態〉

- ・素直で人なつこく優しい。
- ・指示されたことは最後までしっかりとやり遂げる。
- ・論理的に書く力が不十分である。
- ・見通しをもち筋道を立てて考えることが苦手な児童が多い。
- ・活力は感じられるが、けじめのある行動がとりにくい児童が多い。

〈めざす子ども像〉

- 夢を持ち、自ら考え学ぶ人
- 人も自分も大切にする人
- 元気にやりぬく人

〈めざす学校像〉

- 学ぶ喜びがあり充実できる学校
- 明るさに満ちた安心できる学校
- 保護者や地域に信頼される学校

学びに向かう力の向上のための  
力点

- ◎学びの基となる基礎・基本の徹底
- ◎子どもをつなぐ学びの創造
- ◎ICT機器の活用

- ・「マ東漢字検定」の実施による言語力向上と学習意欲の喚起
- ・「パワーアップタイム」による活用力向上と勉への支援充実
- ・読書環境の充実と読書活動への意欲の喚起（図書室の整備と蔵書の充実）
- ・予習、復習等効果的な学習スタイルの構築と一定の家庭学習時間の確保（目標時間〔1年20分、2年30分、3年45分、4年以上60分〕達成90%以上）
- ・根拠に基づいた話し方、書き方の指導時間の確保による読解力や書く力の向上
- ・読み解く力を高めるための「読解力」「書く力」の向上を意図した授業づくりと授業改善に係る職員研修の充実
- ・ネット利用による適切な情報収集・活用の能力の育成
- ・意見交流や情報共有のためのツールとしての日常的なタブレット利用

〈本校の教育課題〉

- ・学びの基礎基本の徹底と思考力、判断力、表現力の育成
- ・自ら考え行動する態度の育成
- ・自己有用感の醸成
- ・ふるさとを愛する心の醸成
- ・日常的な健康づくり習慣の確立
- ・家庭、地域の学校づくりへの参

〈学校教育目標〉

ふるさとを愛し  
心身ともに健康で  
自ら学び挑戦する人の育成

豊かな人間関係と社会性を育むための  
力点

- ◎自己有用感を向上させる人間関係づくり
- ◎いじめをしない、させない、見逃さない取組の徹底

- ・全校児童による児童主体の集会活動や縦割り活動の効果的な展開
- ・あいさつの習慣形成
- ・課題のある児童への組織的な対応力の強化
- ・特別支援教育に係る研修の実施
- ・いじめ点検や情報交換会によるいじめや不登校への早期対応
- ・いじめ撲滅に向けた児童の主体的な取組の展開
- ・保護者に対するいじめへの理解促進

〈地域の実態等〉

- ・恵まれた自然環境
- ・歴史ある街並み、高い文化
- ・学校教育への高い関心と期待
- ・少子高齢化
- ・新興住宅地の発展、空き家の増加

〈中期的目標〉

- 確かな学力をつける園小中一貫教育の推進と着実な積み上げ
- 家庭、地域とつながる学校の構築
- 知・徳・体のバランスの取れた児童の育成
- びわ湖を中心とした自然や地域と共生する力の育成
- 主体性を育て、生き方を学ぶ教育の推進
- 「いじめ」「不登校」のない安心、安全な学校づくり
- 教職員の授業力・指導力・課題対応力向上

健康の保持増進と体力の向上のための  
力点

- ◎体力づくりへの意欲の向上と目標に向けて頑張り抜く根気強さの育成
- ◎自分の健康を自分で管理できる力の育成

- ・フィジカルタイムの推進による運動への意欲向上
- ・年間を通してのマラソン、縄跳び活動の展開
- ・適正なスクリーンとの接触についての理解促進
- ・「早寝」「早起き」「朝ご飯」の推進
- ・家庭でのゲームやネット利用に対する自己管理能力の育成

地域とともにある学校

- ◎地域の良さを生かした教育の充実
- ◎学校運営協議会・地域学校協働活動による一層の地域連携

- ・自然教室を始め地域素材、地域人材等を生かした教育活動の一層の充実
- ・持続可能な地域の支援体制構築に向けた支援ボランティアの組織化
- ・学校運営協議会と地域学校協働活動のリンクの強化

〈R1学校評価 概要〉

- ・児童、保護者、教員による授業評価における理解度、満足度および学習規律の定着 A
- ・家庭学習の習慣化と内容の充実、漢字検定の実施による基礎学力の定着 B
- ・職員研修等授業改善に向けた取組の充実 A
- ・児童の学校への登校意欲、保護者の相談受け入れ体制の充実、いじめ防止の取組 A
- ・きめ細かな児童の見取りと個に応じた指導、支援の徹底 A
- ・地域の良さを生かした学習活動や環境教育の充実 A
- ・「返事、あいさつ、くつろえ」「そうじ」の徹底した指導 B
- ・フィジカルタイムによる体力づくりの取組の推進、年間を通してのマラソン、縄跳びの奨励 A

園小中一貫教育の推進

- ◎管内児童生徒、管内教職員の一層の交流促進
- ◎「夢カード」の活用とキャリア教育についての共通理解・共通実践

- ・「マキノ中学校区版学習スタイル」を基とする継続的指導
- ・小1担任者会の積極開催
- ・小6の中学校での学習機会の拡大
- ・スタートカリキュラム策定等小学校入学時における効果的な接続に向けた園小協議
- ・「夢カード」の有効活用のための改訂

# 令和2年度 学校教育到達目標

# 高島市立マキノ西小学校

## 【本年度の力点】

## 【到達目標・数値目標】

**〈児童生徒の実態〉**

- 勤労意欲が高い
- 素直で元気がよい
- 男女・異学年とも良好な関係が保てる
- よく遊びよく学ぼうとする

- 少人数のため人間関係の固定化傾向
- 家庭学習の習慣化が不十分
- 自己肯定感が不十分

**〈めざす子ども像〉**

明るく ◇あいさつ返事が大きな声でできる子  
 ◇自分も他人も大切にできる子

元気に ◇心も体も元気でたくましい子  
 ◇大きな声で発表ができる子。

励む子 ◇夢や目標をもち、  
 自ら考えて行動する子  
 ◇話を理解して聞くことができる子

**〈めざす学校像〉**  
 『地域とともにある学校』

**明るい子**

- ★仲間づくり・集団づくり
- ・道徳的実践力・学習規律確立
- ・絆を深く認め合う集団づくり  
(アサーショントレーニング)
- ・特別活動と縦割活動の工夫
- ★共生する力・生き方学習推進
- ・マ西地域学習の継承
- ・地域資源・自然体験活動の充実
- ・『夢カード』活用
- ・小中一貫教育の推進
- ★特別支援教育・福祉教育推進
- ・個別支援計画による指導相談

- ・大きく明るい声で挨拶をする子 100%
- ・大きな声で返事をする子 100%
- ・地域に学ぶ体験学習実施 100%
- ・夢志をもつ子(夢カード活用) 100%
- ・靴そろえを意識する子 100%

- ・全学年で地域素材を用いた学習に取り組む
- ・学期に1回アサーショントレーニングを取り入れる
- ・全学年で『夢カード』の活用
- ・全学年で福祉学習の取組
- ・年に2回教育支援委員会との連携

**〈本校の教育課題〉**

- 小規模校の強みの生かし方
- 着実な学力向上・体力向上
- 言語活動の充実コミュニケーションアップ
- 個別支援指導 障がい者理解教育
- 集団づくりの工夫 人間関係払拭
- 地域に学び、地域で活躍する

**〈学校教育目標〉**

**最高教育理念**  
 自ら鍛え自ら学ぶたくましさ  
 人や自然と共生する  
 やさしさをもった人の育成

**校訓**  
 明るく 元気に 励む子

**元気な子**

- ★体方向上・運動習慣確立
- ・「健やかタイム」の充実
- ★生活習慣確立・食育推進
- ・『早寝・早起き・朝ごはん』
- ・外遊び30分以上
- ・TVゲーム等2時間以内啓発・ノースクリーンデーの実施
- ・歯磨指導、歯科受診率の向上
- ★いじめ・不登校ゼロの取組
- ・報告、連絡、相談、確認、記録の徹底
- ・安心できる居場所・集団づくり

- ・外遊び1日30分以上する子 100%
- ・10分間運動に込めて取り組む子 100%
- ・早寝する子 低学年9時 100%
- 中学年9時半 100%
- 高学年10時 100%
- ・ゲームテレビ2時間以内 100%
- ・スマホ等9時以降しない子 100%
- ・朝ごはんを毎日食べる子 100%
- ・歯科受診率 100%
- ・毎週児童の情報交換の機会を持つ

**〈地域の実態等〉**

- 少子高齢、過疎化
- 自然・人材が豊かである
- 農林業・産業開発が進む 観光地・工業団地
- 温情厚く、家庭的雰囲気の人々が住む地域である
- 学校・教育への関心高く

**〈中期的目標〉**

- 子どもの姿で勝負するプロ(教職員)
  - ・保護者・地域の期待に応える
  - ・小規模のよさを生かし、課題を克服する経営
- 自らの成長を感じ自信が持てる(児童)
  - ・魅力ある楽しい教育活動、体験活動
  - ・集団力、自己肯定感の向上
- 学校・地域と課題と目標を共有する(地域)
  - ・地域の核となる学校づくり

**励む子**

- ★魅力・喜びのある授業の実施
  - ・「わかる」「できる」授業づくり
- ICT活用授業 ○図書室活用授業
- 読解力の向上 ○課題解決的な学習の充実
- 外国語活動・外国語科の充実
- 算数科の教科担任制導入
- ★主体的・対話的で深い学びへの授業改善
  - ・「マ西漢字チャレンジ」「詩歌チャレンジ」「俳句チャレンジ」の取組
  - ・ペア学習など言語活動の充実
  - ・個別学習支援の工夫 朝学習・朝読書の徹底
  - ・家庭学習 [10分×学年] 以上

- ・学習が楽しいと思える子 100%
- ・マ西漢字に取り組む子 100%
- ・詩歌チャレンジに取り組む子 100%
- ・俳句チャレンジに取り組む子(3年生以上) 100%

- ・家庭学習毎日10分×学年以上
- ・家庭学習頑張ろう週間の設定(年間5回)
- ・読書量 1～3年 100冊 4～6年 80冊
- ・「家読」月1回実施(年間10回)
- ・全教員でICTを活用した授業実践
- ・全学年1回以上の道徳科の研究授業
- ・「マキノ中学校区版学習スタイル」の定着

**〈令和元年度 学校評価 概要〉**

- ・児童数の減少や地域住民の高齢化などの課題も多い中、「地域とともにある学校」を目指してさまざまな取組を進めている。子どもたちのたくましさ、やさしさを見守り、支えていく上で先生方の取組に加えて、保護者・家庭との連携をいっそう深めることや地域住民の協力が今後とも必要になっていく。
- ・本校児童の一番いいところは、団体的な行動や活動に一致団結して取り組む姿勢である。高学年は低学年のことを思い、低学年は高学年を見習い、良い雰囲気の中で学校生活が過ごせている。
- ・教職員はそれぞれに頑張っていると思うが、目標達成には多様な方々の協力が不可欠だということを基本に少しずつよいので取組を進めていただきたい。子どもたちは、社会に出ても協働の取組が必要になってくると思うので多様な主体と一緒に考え、作り出すようなきっかけになる取組をもっていただけたらと思う。

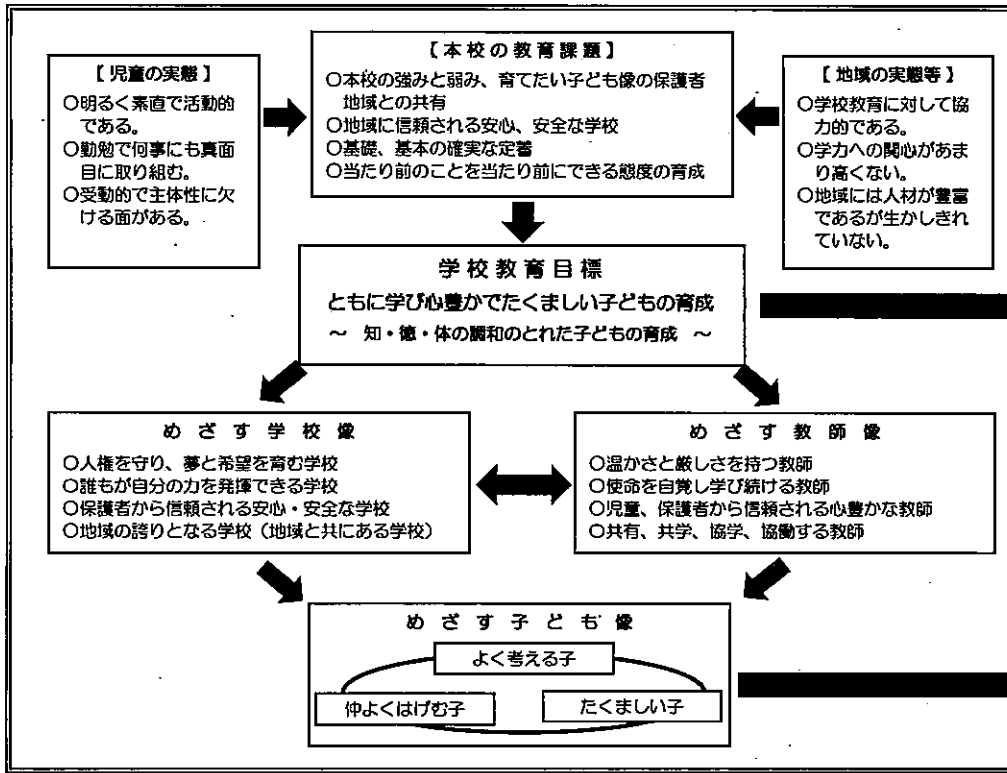
**地域とともにある学校**

- ・学校運営協議会の充実
- ・地域学校協働活動の推進
- ・学校からの情報発信の充実

**小中一貫教育の推進**

- ・「小中一貫教育の日」における共同授業研究

- ・年間5回の学校運営協議会の開催(担任等との懇談会の設定)
- ・学校だより(毎月末)、学年だよりの発行
- ・ホームページの更新(毎月)
- ・メール配信による即時の情報発信
- ・「小中一貫教育の日」の授業研究会参加
- ・年2回の中学校区小中一貫教育研修会への参加
- ・「夢カード」の活用



**本年度の重点**

どの子にも優しく 地域に、未来につなぐ 学校教育の推進

～ 小規模校の良さを生かした「学び」のある 学校の創造 ～

**中期的（3年間）目標**

- ・9年間を見通した小中一貫教育の推進
- ・全国レベルの学力保持、継続
- ・いじめ、不登校、体罰のない安全・安心な学校づくり
- ・教職員の授業力、課題対応力の向上

**学び深く（学力アップ）**

- ◎全員参加の授業づくり（授業改善）
  - ・どの子も活躍できる、一人ひとりがわかったと納得できる授業をつくる。
  - ①魅力ある学習課題、導入、発問の工夫
  - ②自己の考えを広げたり深めたりすることのできる対話の工夫
  - ③子どもと子ども、子どもと教材、子どもと教師をつなぐ教師の役割の自覚
- ◎学力の定着
  - ・学力向上策の実施
  - ①小中一貫教育の推進
  - ②学びに向かう力推進事業による幼小連携の充実
  - ・授業のユニバーサルデザイン化
    - ①端的で的確な指示
    - ②ICT機器の効果的な活用
  - ・「卒業するまでにこれだけは」の活用
    - ①個に応じたきめ細やかな指導
    - ②自己表現力を伸ばす取組
    - ③読書活動の充実

**学び深く（学力アップ）**

- ◎全員参加の授業づくり
  - ・教師の「しかけ」について認め合い、語り合う
  - ・OJT研修の充実と教育財産の共有化
    - ①児童、保護者の授業評価 90%以上
    - ②授業改善への自己評価 90%以上
    - ③つなぐ役割の自覚 80%以上
- ◎学力の定着
  - ・低学年からの学習規律の定着
  - ・授業との繋がりの重視した家庭学習
  - ・授業のユニバーサルデザイン化
    - ※ルールの明確化、視覚化、環境の工夫
    - ①学習意欲の向上 90%以上
    - ②家庭学習を進んでする 90%以上
    - ③平日30分以上の読書 50%以上
    - ④きめ細やかな指導への自己評価 85%以上

**笑顔あふれ（心アップ）**

- ◎いのち・人権・人とのつながり
  - ・特別の教科「道徳」の時間の充実
  - ・異年齢交流、自然体験学習、地域活動体験等を体系的・意図的に実施
- ◎豊かな人間性、社会性を育む
  - ・キャリア教育の充実
  - ・役割や責任を果たし、役に立つ喜びを体得するとともに、集団の中で自分を生かす。
  - ・多様な人との関わりがある体験活動
- ◎特別でない特別支援教育の推進
  - ・子どもを見取り、困り感に寄り添い、子どもにとって一番良い方法を考え対応する
- ◎凡事徹底の学校風土の構築
  - ・当たり前なことが当たり前に行える子へ

**豊かな心**

- ◎いのち・人権・人とのつながり
  - ・年1回以上の道徳授業の公開
  - ・人権感覚の向上
- ◎個の自立と集団力の向上
  - ・チャレンジする子、人のために行動できる子を増やす
- ◎特別でない特別支援教育の推進
  - ・個別の支援計画の活用
- ◎凡事徹底の学校風土の構築
  - ①学校が楽しい子 90%以上
  - ②自己肯定感を持つ子 90%以上
  - ③仲の良い友だちがいる子 90%以上
  - ④いじめ防止への取組評価 90%以上
  - ⑤しっかり挨拶ができる 90%以上

**健やかに（元気アップ）**

- ◎運動好きにすること、動ける体の基礎を作る
- ◎保健・安全教育の充実
  - ・命を守る安全意識の向上と自分の健康、体力向上を意識できる子を育てる

**健やかな体**

- ◎体育授業の充実、健康教育、食育の推進
  - ①進んで運動に取り組む子 85%以上
  - ②健康安全に気をつける子 85%以上
  - ③早寝・早起き・朝ごはん 95%以上

**教職員の教育力を高める**

- ◎学び続ける姿勢と学び合う教職員集団
  - ・「チーム」で勝負する教職員集団
  - ・人権意識高揚のための研修の実施
  - ・指導力、実践力、対応力の向上

**教職員の教育力**

- ・学校運営への参画意識の向上
- ・人権感覚の向上
  - ①相談できる先生がいる 90%以上
  - ②相談しやすい学校 90%以上

**地域とともにある学校**

- ◎学校の視野を広げ、幅広い見方からの意見を適切な判断の参考にする。
- ◎地域との協働、相互参画による教育活動の充実（特色ある学校づくり）

**地域とともにある学校**

- 学校運営協議会の効果的な開催
- 定期的な情報発信
- 年2回の学校評価の実施
- 地域、関係団体との連携推進

令和元年度 学校評価の概要

○児童、保護者評価

- ・学習理解 (A) 家庭学習の定着 (B) 読書 (C)
- ・学校に行くのが楽しい (A) 保護者の意見や相談の受け止め (A) いじめ防止 (A)
- ・あいさつ、生活リズム「早寝・早起き・朝ごはん」(B) 安全・安心な学校づくり (B)

○学校評議委員

- ・学力アップ (A) 心アップ (B) 体カアップ (B)
- ・教職員の指導力アップ (A) 保護者・地域との連携アップ (B)

〈児童生徒の実態〉

- ・純朴で穏和である。
- ・勤労意欲が高く、何事にもまじめに取り組む。
- ・受け身的であり、競争意識が低い。
- ・学力差が見られる。

〈めざす生徒像〉

世の中の事象に柔軟に対応、自ら行動し、変化を生み出そうとする生徒

- 夢や目標の達成のため日々努力し、自分の生活をコントロールできる生徒
- 自分や集団の問題に気づき、自ら改善や解決への手立を講じられる生徒
- 周囲に感謝の気持ちを持ち、自ら社会の中で役立つために行動する生徒
- 凡事徹底で自信を付け、自分を大切にできる生徒

〈めざす学校像〉

- 「チームマキノ」を合言葉に地域とともにある学校
- 国際人として考え行動できる力を育てる学校
- マキノを愛し、自信をもって教育活動を推進する学校
- 日本一の環境づくりに取り組む学校

〈本校の教育課題〉

- ・生徒の純朴でまじめな良さを生かしつつ、新たな人間関係の構築など自らが主体的・能動的に活動できる生徒をどう育成するか。
- 保護者や地域から信頼され、ともに力を合わせ、地域とともにある学校づくりをどう推進するか。

〈学校教育目標〉

品・気魄・和合

校訓

「自ら行動し、変化を生み出す」  
「キャガフレース」  
「自分の品・気魄・和合の実践」

〈地域の実態等〉

- ・少子高齢化が進む地域
- ・三世同居が多く、情に厚い。
- ・学校教育に対する期待が高く、PTA活動への参加率も高く、協力的である。

〈中期的目標〉

- 学びの姿勢の育成
- 自立した生徒の育成（育成プラン）
- 豊かな心を育てる体験活動の推進
- 新教育課程に向けた研鑽を積む教師
- 教師の高い経営参画意識と組織対応
- 個性を生かし支え合える教師集団

〈令和元年度学校評価の概要〉

- ・授業がわかる 90%
- ・家庭学習1時間 52%
- ・いじめ点検月2回実施
- ・読書月2冊以上56.5%
- ・ボランティア活動年間3回以上 (B)
- ・10kmロードレースの充実 89%
- ・部活動の充実 85.5%

(関係者評価)

- ・地域と学校がつながることは大切であり、ともに目指す方向性を共有し、地域が支える学校に、学校が元気な地域づくりを進めていきたい。

◎ 学力の向上

- ・基礎基本の徹底
- ・家庭学習の定着
- ・学び合う学習の充実
- ・表現・言語活動の充実
- ・教科横断的な学習の構築

◎ ICTの活用

- ・ICT機器による課題解決学習やプレゼンテーション活動の充実

◎ 豊かな心づくり

- ・「考え議論する」道徳教育の充実
- ・集団づくりの充実
- ・体験活動の充実
- ・読書の推進
- ・生徒指導の充実
- ・ボランティア活動の充実

◎ いじめ

- ・生徒主体のいじめ撲滅活動の充実

◎ 健康な心身の育成

- ・健康な生活リズムの確立
- ・自己管理の定着
- ・食育の推進
- ・部活動の充実
- ・克服体験行事の充実

◎ 保護者・地域とともにある学校の創造

- ・学校開放日の設定
- ・積極的な情報発信
- ・安心安全の学校
- ・地域との連携づくり
- ・学校評価の充実

◎ 小中一貫教育の推進

- ・9年間を見据えたキャリア教育を軸に、「学力の向上」「豊かな心の育成」を目指す。

- 「授業がよくわかる」と生徒の90%以上
- 生徒90%以上が家庭学習を毎日60分以上
- 進級試験を加味した学年末試験の実施
- 全授業で1分間スピーチの実施・工夫
- 主体的対話的な活動を設定した授業実践
- 全職員による補充学習（テスト週間）
- ICT機器の活用した、課題解決学習とプレゼンテーション活動の設定

- 考え議論する道徳教育の実践（授業研究の充実）
- 生徒会活動や縦割り活動を通した生徒主体の学校行事
- 「いじめ点検」を月2回実施
- いじめの解決100%
- 朝読書の充実、月2冊以上の読書
- 全校生による地域ボランティア活動への参加一人年3回
- 校歌の地探訪（チャレンジウォークの取組）

- 夜11時までに寝る生徒が80%
- 給食の完食 90%
- 部活動が充実していると感じる生徒が90%以上
- 10kmロードレースの達成感90%以上
- 「学校に来るのが楽しい」と感じる生徒が90%以上

- 毎月「学校開放日」を設定
- 「学校便り」を毎月発行
- 「メール配信」の充実
- 年間2回の保護者・生徒アンケートの実施と学校評価結果の公表
- 安全・危機対応職員研修の実施
- 保護者対象「いじめ点検」月1回
- 学校運営協議会を通して、豊かな地域学校協働活動の実施
- 「夢カード」を活用した進路実現と、学校生活向上への意識付け
- 事前研究から参画する合同授業研究会への積極的な参加

令和2年度 学校教育到達目標

高島市立今津東小学校

【本年度の指導力点】

【到達目標・数値目標】

〈児童の実態〉  
 ○素直で、人なつこい。  
 ○多様な個性、あふれる好奇心。  
 ●読み取る力や伝える力が弱い。  
 自信、意欲、根気、達成に課題がある。  
 ●学習意欲に個人差が大きい。  
 ●個別支援を要する児童が多い。

〈めざす子ども像〉  
 ○かんがえ(知) 基礎基本の定着と読み解く力の育成  
 ○おもいやり(徳) 相他を受する豊かな心の育成  
 ○たくましい子(体) 体力や気力、生きる力の育成  
 ○地域に学び、地域を愛する心の育成(郷土愛)  
 〈めざす学校像〉  
 ○地域とともにある学校  
 ○安全・安心が守られた信頼される学校

基礎基本の定着と読み解く力の育成のための力点  
 ◎基礎的・基本的な知識・技能の習得と、これらを効果的に活用する能力を伸長  
 ・「読み解く力」の育成  
 ◎高島・今津を誇れる地域学習  
 ・地域の人・もの・ことに学ぶ  
 ◎ICTの活用  
 ・タブレットを効果的に活用した授業

かんがえ(知)  
 ◎「勉強がわかり、できる」の自己評価80%以上(前年度73%)  
 ◎「読み解く力」を意識した授業づくりに努め、グループ学習を効果的に実施  
 ◎地域学習を年間計画に位置付け、各学年とも年1回以上実施  
 ◎「ICTを活用した授業に取り組んでいる」教員の割合90%以上(前年度74%)

〈本校の教育課題〉  
 ●基礎学力の定着、思考力・表現力に課題  
 ●人間関係の構築に支援を要する児童が多い。  
 ●通常学級において特別支援を必要とする児童が多く、きめ細かな支援が行き届きにくい。

〈学校教育目標〉  
 心身共に健全で  
 創造性豊かな子の育成  
 ・思いやりのある子  
 ・ふかく考える子  
 ・強くたくましい子

自他を愛する豊かな心を育成するための力点  
 ◎いのち・人権  
 ・生活の合言葉／あ・いたの3つ  
 「あいせつ、しんせつ、たいせつ」  
 ・毎月10日は「校内人権の日」  
 ◎いじめゼロの実践  
 ・いじめ撲滅に児童会が主体となって取り組む  
 ・PTAや地域の団体等と連携し、地域ぐるみで思いやりの心を育む

おもいやり(徳)  
 ◎いのち・人権  
 ①「学校に来るのが楽しい」の自己評価85%以上(前年度77%)  
 ②校内人権の日に、教員が交代で人権啓発のメッセージを伝える  
 ◎いじめゼロ  
 「学校は、いじめ問題に誠実に取り組んでいる」の保護者評価85%以上(前年度81%)

〈地域の実態等〉  
 ・豊かな自然、歴史文化伝統に恵まれた環境を有する。  
 ・過疎化の進む地域と新興住宅地があり、個性豊かで価値観も多様である。  
 ・少子化の進行に伴う児童数の減少に歯止めがかからない。  
 ・家庭や地域の教育力は一定保たれつつも、協力が得にくい家庭もある。

〈中期的目標〉  
 ○言語能力の向上を図り、正しい用語による論理的な表現力の育成を図る。  
 ○成就感や達成感を高める行事の工夫と連帯感や充実感を深める学級づくり  
 ○すこやかタイムの定着と保健安全指導の工夫

体力や気力、自立する力を培うための力点  
 ◎体育的行事のほか、外遊びを励行し、健康でたくましい身体を育成  
 ◎規則正しい生活習慣の定着  
 ◎体験学習や異年齢集団での学習機会等により、生きる力(生活力・自立する力)を育成

たくましい子(体)  
 ◎「すこやかタイムをはじめ、学校教育活動全般で体力づくりを図る」の自己評価90%以上(前年度82%)  
 ◎「異なる学年の友だちとも仲良く活動できる」児童の割合80%以上(前年度の指標なし)

〈RI 学校評価 概要〉  
 ・(児)「勉強がわかりできる」82%、学校が楽しい77%、約束やきまりを守る88%。  
 ・(教)わかる授業94%、ICTを活用した授業74%、問題行動の早期発見84%。  
 ・(P)いじめ問題への取組81%、「早寝早起き朝ごはん」86%。  
 ・(学運協)「思いやりのある子・ふかく考える子・強くたくましい子」という目標は、まだ地域の中に浸透しているとは言えない。引き続き、地域への発信に努めること。

地域とともにある学校  
 ◎信頼される学校・期待に応える学校  
 ◎地域学校協働活動の一層の充実  
 小中一貫教育の推進  
 ◎小中一貫教育標準カリキュラムの活用  
 ◎児童生徒の交流の促進

◎学校運営協議会  
 ・熟議を経た意見について、「具体的な改善が見られた」との意見を全委員からもらえるようにする。  
 ◎小中一貫教育  
 ・小中一貫教育標準カリキュラムを活かした授業づくりに努める。

〈児童生徒の実態〉

- ・明るく元気で、外遊びを好む。
- ・素直で人なつこく、与えられた課題にはまじめに取り組む。
- ・困難なことに立ち向かおうとする気概にやや欠ける。

〈めざす子ども像〉

- ・基礎基本となる力を持ち、理解力・活用力をのばす子ども
- ・自他を愛する豊かな心を有する子ども
- ・健康でたくましい身体を有する子ども
- ・地域を知り、地域を愛する子ども

〈めざす学校像〉

- ・自ら学び、考え、行動する力を持った子どもを育てる学校
- ・児童の学力向上に努める学校
- ・人権意識を高め、豊かな人間性を育む学校

〈本校の教育課題〉

- ・児童が主体的な学びに向かうことができるよう、基礎基本の習得にむけた授業づくり
- ・豊かな心と人権意識を高めるための道徳の授業の工夫や学習機会の設定
- ・家庭学習の充実を図るための保護者との協力連携

〈学校教育目標〉

すすんで やさしく たくましく

人を思いやる豊かな心と自ら学ぶ意欲を持ち、ふるさとを愛する心身ともにたくましい子どもの育成

〈中期的目標〉

- ・学力の基礎基本の定着を図り、自分の考えたことを表現につなげる。
- ・行事を通して成就感や自己存在感を深める学級づくり
- ・日頃から健康と体力を高めようとする意欲を育てる保健・安全指導の展開

〈地域の実態等〉

- ・旧川上村を中心とした学区であり、農業により生活を支えてきた地域である。三世同居の家庭も多く、これまでの伝統を大切に、地域で学校を支えていこうという風土がある。

〈RI学校評価 概要〉

- ・今の学校がやるべきことが多く、また教育課程が新しくなったことでより教師ばかりでなく子どもにとっても多忙感があるように思われる。学校では、時代のニーズにあったことを教育課程に組み入れてやらなければならないが子どもが学びに向かう姿勢を育てる基本的なスタイルは崩すことなく取り組んでいきたい。その中で学校でやるべきことと家庭でやるべきことを様々な機会をとおして発信していくことが大事である。
- ・親がわが子に関わるのと同様に、地域の大人が地域の子に適切に関わるのが重要であり、地域全体で子育てを進めていくという認識を広めることで、豊かな心を育み、いじめをなくす取組にもつながっていくものと考えられる。

学びあう子の育成のための力点

- ◎考えたことを話し合い、言葉を工夫して表現する学習活動の工夫
- ◎主体的な学びにつながる、わかる授業の実践
- ◎ICTの活用
  - ・興味関心を抱かせ、思考につなぐ資料や考え方の提示
  - ・情報機器を使った調べ学習とまとめ、発表機会の設定

豊かな心を育むための力点

- ◎いのち・人権を大切に
  - ・「いのち」の大切さを全教科・領域を通じた指導
  - ・学級や縦割り活動における、好ましい人間関係づくり
- ◎いじめをなくそう
  - ・日常生活の中で、「楽しい学校」について考えさせる。
  - ・人権集会を契機として自分たちからいじめをしない環境づくり

健やかなからだづくりのための力点

- ◎体を動かすこと・外遊びの奨励と環境整備
- ◎体力づくりの推進
  - 自らの健康に関心を持ち、健康な毎日を送るための保健指導を推進

地域とともにある学校

- ◎地域の教材の効果的活用と、地域人材からの学ぶ場を創出する。
- 小中一貫教育の推進
  - ◎発達段階に応じた学習規範の統一
  - ◎小中教員による授業づくり

学びあう子の育成

- ・「授業が分かる」と回答する児童
  - ・・・85%以上
- ・家庭学習時間の定着化
  - ・・・20分×学年
- ・話し合いを取り入れた学習活動
  - 主体的・対話的で、深い学びの実現
  - 各教科で単元のまとめ等随時実施
- ◎ICTを使った学習活動
  - ・情報機器の効果的な使い方について各教科の学習活動を通じて学ぶ。

思いやり心・豊かな心を育む

- ◎いのち・人権・思いやり
  - ①やさしい言葉をかけられた経験
    - 85%以上
- ◎いじめのない学校づくり
  - ①学校が楽しいと回答できる児童
    - 90%以上
  - ②場にあったあいさつがしっかりとできる。
    - 85%以上

健やかな体

- ◎児童の体力向上への意欲を高める授業づくりや運動環境の工夫
  - ①外遊びをする子
    - 85%以上
  - ②運動家好きと答える児童
    - 95%以上
- ・昼休みを利用した児童会画（なわとび大会やドッジボール大会）で体力増進の機会を設定

学校運営協議会

- ・学校と地域のつながりについて、場面や方法について協議し、地域に開かれた学校づくりに努める。
- 小中合同による授業づくり
  - ・協働授業研究を機会として、学区内の児童生徒の学力状況や学習課題にせまる。

# 令和2年度 学校教育到達目標

# 高島市立今津中学校

**<生徒の実態>**

- ・まじめで素直な生徒が多い。
- ・生徒同士の仲がよく、協力して物事に取り組める。
- ・行事や学友会活動などに主体性に取り組める。
- ・基本的な生活習慣や学習習慣が十分定着していない。
- ・人間関係づくりが苦手な生徒が増えている。
- ・特別な支援を要する生徒が増えつつある。

**<めざす子ども像>**

- ・あいさつや掃除がしっかりでき豊かな心と社会性を身につけた生徒
- ・確かな学力を身につけた生徒
- ・明るく元気で思いやりがあり、切磋琢磨しながら誰ともうまく関わる生徒
- ・自分の考えを持ち、仲間のことを考えて行動できる生徒
- ・夢や希望、望ましい生き方を見つけ、目標に向かって粘り強く努力できる生徒

**<めざす学校像>**

- ・保護者や地域から信頼される学校
- ・明るく前向きに活動し、活力がある学校
- ・互いを認め、高め合い、温かさが感じられる学校

**<本校の教育課題>**

- ・確かな学力の定着
- ・豊かな心と感性の育成
- ・健やかな体の育成
- ・特別な支援を要する生徒への対応
- ・不登校を減らす重点的な取組
- ・社会的自立の育成
- ・保護者と教師の信頼関係づくり

**《校訓》**  
真理の探究・正義の実践・平和の愛好

**《教育目標》**  
ふるさとに愛着をもち  
豊かな心と社会性を育み  
夢の実現を図る生徒の育成

**<地域の実態等>**

- ・教育に関心があり、学校に対する期待は大きい。
- ・保護者へ学校の情報や考えが伝わりにくい。
- ・家庭の教育力が弱くなりつつある。
- ・地域や生徒のためなら労を惜しまない人が多い。
- ・地域の未来を担う中学生を地域で育てようとしている。

**<中期的（3年間）目標>**

- ・積極的に学ぶ姿勢をもった生徒を育成する。
- ・感動や成就感が得られ、豊かな心を育む体験活動を実施する。
- ・学友会活動により自主、自治能力の育成を図る。
- ・自ら学び、考え、正しい判断をし、規律正しく自分の行動に責任がとれる生徒を育成する。
- ・地域や保護者に信頼され、地域とともにある学校づくりを推進する。
- ・次期学習指導要領に対応した授業を展開できるよう、教師の授業力を向上させる。
- ・生徒に寄り添い、率先垂範する教師集団を確立する。

**<令和元年度 学校評価の概要>**

- 学力の向上 …C 毎日1時間以上家庭学習している。(生徒32%)  
学校の授業はわかりやすい。(生徒85%)
- 豊かな心づくり…B 道徳の授業では自分の生き方についてしっかり考えた。(生徒84%)  
学友会活動に積極的に取り組める指導・支援が行われている。(保護者91%)
- 健康な心身の育成…B 学校は楽しい。(生徒90%) 部活動に休まずに参加した。(生徒73%)
- 地域連携…B PTA活動は保護者によく内容が伝わり充実している。(保護者77%)  
学校と地域が連携をとり教育を進めている。(保護者73%)

## <本年度の指導力点>

○学力向上・学習指導

- ・主体的・対話的で深い学びの授業実践
- ・朝読書と朝学習の徹底
- ・読み解く力の育成
- ・話し合い活動の充実
- ・基礎学力の定着
- ・自己表現力の育成
- ・ICT機器の有効活用
- ・学習規範の徹底
- ・家庭学習の充実

○豊かな心づくり

- ・道徳教育の充実
- ・キャリア教育の充実
- ・体験活動の実施
- ・集団を質を高める行事の実施
- ・生徒指導の充実
- ・いじめを許さない学校づくり
- ・ボランティア活動の充実
- ・学友会活動の活性化
- ・教育相談の充実
- ・特別支援教育の推進

○健康な心身の育成

- ・基本的生活習慣の徹底
- ・体験活動の充実
- ・部活動の充実
- ・自主トレの実践
- ・社会性の育成
- ・人や地域へ感謝する心の育成

○地域連携

- ・生徒の地域活動への参画
- ・人・地域から学ぶ教育の推進
- ・学校行事の工夫と実践
- ・地域とともにある学校づくり
- ・家庭、地域への広報活動
- ・関係機関との連携

## <本年度の到達目標：数値目標等>

- ・朝読書・朝学習を徹底する生徒 90%以上
- ・授業中自ら学び、話し合い活動ができる生徒 90%以上
- ・各教科で「読み解く力」の向上に取り組む学習のルールをもとに学習規範を徹底する生徒 80%以上
- ・家庭学習を毎日1時間以上できる生徒 80%以上
- ・授業がよくわかると答える生徒 80%以上
- ・ICT機器を活用した授業実践に取り組む学習支援、補充学習を工夫する。

- ・道徳の研究授業の実施（毎学期）
- ・キャリアパスポートの活用と各学年講師を招聘した生き方に関する講演会を実施
- ・生徒の感性を磨く体験活動の実施
- ・職場体験を充実させる（生徒95%以上）
- ・ヤングボランティア活動への参加
- ・全校（生徒）集会を毎月1回実施
- ・学友会によるいじめ撲滅運動の推進
- ・各学期に生徒全員の教育相談を行う
- ・特別支援教育に関する情報交換を行う（月1回）

- ・学友会活動が充実した生徒 80%以上
- ・「学校が楽しい」と感じる生徒 90%以上
- ・学友会本部を中心とした挨拶運動の推進
- ・10分間の掃除ができた生徒 90%以上
- ・校内駅伝、体育祭の参加 95%以上
- ・部活動に休まず参加した生徒 90%以上
- ・地域の方との交流をした生徒 90%以上

- ・地域の活動に1回以上参加 80%以上
- ・PTA学級委員を中心とした活動の実施（各学級、年間1回以上）
- ・サポーター会や各種地域団体との連携
- ・地域とともにある学校（学校運営協議会、地域学校協働本部）の推進
- ・中学校区の地域学校協働本部との連携
- ・授業での外部指導者の活用 年間1回
- ・配信メールによる重要な連絡内容の提供
- ・学校だよりによる情報発信 毎月1回
- ・保護者の学校に対する満足度 80%以上

生徒の目標・保護者や地域に対しての約束



＜児童の実態＞

- ・明るく素直である
- ・真面目に努力できる
- ・コミュニケーション力、人間関係づくりに課題がある
- ・情報活用力（比較・関連付け・整理）が弱い

＜めざす子ども像＞

- ・自分も友だちも大切にする子
- ・心も体も元気でたくましい子
- ・気づき考え自ら行動できる子

＜めざす学校像＞

互いにつながり  
響き合う温かい学校

＜本校の教育課題＞

1. 家庭、地域、学校がつながりあう「地域とともにある学校」を目指す
2. 新学習指導要領に基づき、「読み解く力」の育成に重点を置いた学びを実感できる授業づくりを目指す
3. 人を大切にできる力、自分の考えを持つ力、自分を表現する力、チャレンジする力を育成する

＜学校教育目標等＞

心身ともにたくましく、  
ふる里を愛する  
人間性豊かな子どもの育成

なかよく たっしやで きばる子

＜地域の実態等＞

- ・過疎化の進行にともない児童数が著しく減少している
- ・地域の教育力は保たれており、家庭・地域とも学校に対して協力的である
- ・バス通学児童が6割強あり、行事等日課変更時の下校時刻設定に配慮を要する

＜中期的目標＞

- ・楽しく明日も来なくなる学校の創造
- ・自律の力、自学自習できる力の育成
- ・学力、体力向上に向けた取組の充実
- ・児童が学びを実感できる授業の実践
- ・自分の思いを表現する力の育成
- ・豊かな人間関係づくりに向けた実践
- ・保幼小中一貫教育の一層の充実

＜RI学校評価 概要＞学校関係者評価 A

○学校教育目標を目指して、学力・心・生きる力の育成を図り、学校・保護者・地域が一体となって児童の育ちの保障をしていく積極的な取組がとてよい。目標が十分達成できているものが5割以上あり、素晴らしい。その分、児童に力がついたものと確信する。

○少人数での小中一貫教育ゆえに、教員が丸となって機動的・能動的に対応し成果を上げている。知恵と工夫の結果と思う。児童数・世帯数減少の中で、保幼小中の連携はとてよい。様々な場面で相互交流があることで就学や進学の際に不安が減っていると感ずる。朽木ならではのよさを子どもと共に保護者も感じ、地域の中の学校という意識がさらに定着してほしい。

なかよく(徳)

- ①仲間・集団づくり
  - ・心に響く道徳授業
  - ・絆を深め認め合う集団づくり
  - ・特別活動・縦割活動の工夫
- ②共生する力・生き方学習継続
  - ・『オグラスプロジェクト』
  - ・特色ある地域学習の継承発展
  - ・森林・田んぼ・自然体験活動
- ③特別支援教育・福祉教育推進
  - ・個別支援計画による指導相談
  - ・保護者・専門的関係機関連携
  - ・障がい児(者)理解教育推進

たっしやで(体)

- ①命を大事にする環境づくり
  - ・感染症予防対策の徹底・心のケア
  - ・安心できる居場所づくり
  - ・教育相談週間計画実施
  - ・アンケート等調査結果の活用
- ②生活習慣確立・食育推進
  - ・『NO!メディアウィーク』
  - ・『早寝 早起き 朝ごはん』
  - ・保健学習・食育指導の充実
- ③体力向上策の継続
  - ・『健やかタイム』の充実
  - ・苦手種目克服・技能習得
  - ・みんな遊び・外遊びの奨励
  - ・異年齢ふれあい活動工夫

きばる(知)

- ①学力向上のための授業改善
  - ・「学び合い」授業の追究
  - ・課題解決的な学習の確立
  - ・6年[算数科]教科担任制実施
- ②指導方法の工夫
  - ・ICT機器の有効活用
  - ・個別最適化された学びの実現
  - ・朝学習の工夫 「朽東漢字検定」の継続
- ③学習規律確立・学習習慣定着
  - ・家庭学習の充実、支援(休業期間～再開後) 課業中:「10分×学年」以上
  - ・朝読書、補習授業、BUT
  - ・図書貸出冊数増(図書利用)

チーム「くつきひがし」

- ①保幼小中一貫教育の推進(地区統括校)
- ②コミュニティ・スクール(3年次)の推進
  - ・学校情報発信
  - ・地域学校協働活動の推進

|                   |         |
|-------------------|---------|
| ・保護者への道徳授業公開      | 2回/年    |
| ・縦割り・児童会活動など仲間づくり | 随時      |
| ・児童集会での個人発表機会     | 1回/年    |
| ・稚拙放流・川に学ぶ学習・町探検  | 低学年通年   |
| ・森林学習・どんぐりプロジェクト  | 中学年通年   |
| ・朽木探訪(サイクリング) 米作り | 高学年通年   |
| ・福祉教育計画的実施(社協連携)  | 1単元/年   |
| ・個別支援計画と面談指導相談実施  | 1~2回/学期 |
| ・いじめを許さない学校・学級づくり | いじめ0件   |
| ・「いじめゼロ」意見発表      | 毎学期実施   |

|                   |        |
|-------------------|--------|
| ・自分から元気に挨拶        | 毎日実行   |
| ・手洗い消毒、3密を避ける対策   | 毎日実行   |
| ・「学校が楽しい」と思う児童    | 100%   |
| ・安全集会・避難訓練(お出掛け隊) | 3回/年   |
| ・調査結果即指導対応ケース会議   | 随時     |
| ・小中『NO!メディアウィーク』  | 100%   |
| ・栄養教諭による各学年食育TT指導 | 100%   |
| ・朝食摂食率&睡眠時間充足率    | 100%   |
| ・小中スポーツデー【運動会体育祭】 | 工夫して実施 |
| ・放課後「健やかタイム」工夫実施  | 週3回実施  |
| ・運動場で遊ぶ機会増加 みんな遊び | 毎水曜日   |
| ・できる技を増やそうと頑張る児童  | 100%   |

|                   |          |
|-------------------|----------|
| ・「授業が楽しい勉強がわかる」児童 | 100%     |
| ・保幼小中でのT・T指導授業交流  | 随時       |
| ・PDCAによる学ぶ力向上策の推進 | 毎学期      |
| ・教科担任制の実施(6年生算数)  | 苦手単元     |
| ・ICT機器等を活用した授業    | 毎日       |
| ・毎日の朝学習(読書タイム漢検等) | 15分実施/日  |
| ・「考え、議論する」道徳授業の充実 | 水曜日2校時   |
| ・「自学自習」できる家庭学習の支援 | 毎週(休業中)  |
| ・家庭学習時間10~15分×学年  | 95%(再開後) |
| ・BUT小中連携学び合い学習    | 2回/学期    |
| ・読書量の増加 低学年(1・2年) | 180冊/年   |
| 中学年(3年)           | 120冊/年   |
| (4年)              | 100冊/年   |
| 高学年(5・6年)         | 80冊/年    |

|                    |      |
|--------------------|------|
| ・合同研究会、各部会活動の推進    | 随時   |
| ・各種広報&学校メール配信・HP更新 | 随時   |
| ・『結の会』通信発行・地域メール配信 | 随時   |
| ・学運協での課題解決に向けた熟議   | 5回/年 |

# 令和2年度 学校教育到達目標

# 高島市立朽木西小学校

## <児童の実態>

- ・互いに仲よく物事に真面目に取り組む。
- ・明るく元気で、活動的である。
- ・大人との関わりは良好だが、他校の子ども同士の交流は、苦手な面がある。
- ・集団内で意見を交流させる機会が少なく、多様な意見の中で自分の考えを深めにくい。
- ・自学自習の力が不十分。



## <本校の教育課題>

- ・地域の豊かな自然や文化、人材を生かしたへき地校ならではの教育活動の工夫
- ・極少人数級の良さを生かした学習指導の充実
- ・コミュニティ・スクールを軸にした「地域とともにある学校」の構築（学校と地域が連携・協働する体制づくり）



## <地域の実態等>

- ・学校の教育活動に理解があり協力的である。（PTA賛助会員）
- ・学校を愛し、子どもに対する愛情が深い。
- ・地域の生活文化の伝承等の学習にも、講師として熱心に指導していただける。
- ・人口減少による地域の過疎化。

## <R1学校評価の概要>

- 子どもの数が少ないこと、家庭環境と育ちの過程が様々であることは西小の特徴で、それが学校運営にとって難しいことだと思われる。しかし、話し合う場を重ねることが出来れば、それは小規模校としての利点である。
- 「チーム西小」の体制構築するため、教職員は、一教育者、一人間として、保護者や地域住民と心を開いてコミュニケーションをとって欲しい。保護者、地域住民は、節度と良識を持って教職員との話し合いに臨む姿勢が大切である。小規模な地域だけに、できるだけオープンな場作りが必要（子どもと大人共に）。
- 運動会、文化祭、感謝祭どれもすべて素晴らしく、先生方の取組には敬意を表す。
- どの子どもたちも、学年以上の力がついている。子どもたちの生き生きとした活動が、針知地域の元気の源となっている。今後も、地域の人々をまき込んだ学校経営を。

## <めざす子ども像>

- 明るく健康な子ども <じょうぶで>
- 深く考えやりぬく子ども<がんばる>
- 心豊かな子ども <やさしい子>
- <めざす教師像>
- ・人間性と専門性を発揮して組織体として協働する教師
- ・家庭・地域との連携・協働により子どもたちの成長を育む教師



## <学校教育目標等>

針知を愛し心身ともにたくましく生きる  
心豊かな子どもの育成  
<じょうぶで がんばる  
やさしい子>



## <中期的（3年間）目標>

- ・保幼小中一貫教育の一層の充実
- <東小との交流、遠隔授業交流>
- ・学校運営協議会、地域学校協働本部を中心とした「地域とともにある学校」の推進
- ・キャリア教育の充実

## <本年度の指導力点>

### ○明るく健康な子どもの育成

1. 適切な言葉遣いの習慣化
2. 体力の向上
3. 安全・健康に対する自己管理
4. 自主的、実践的態度の育成
5. 防災・安全教育の推進

### ○深く考えやりぬく子どもの育成

1. 自分の思いを豊かに表現し、深く考える指導の工夫 <自学自習の力>
  2. 学習意欲の向上と基礎・基本の定着
  3. 家庭学習の工夫と習慣化
  4. 体験を通じた学びの充実
  5. 保幼小中一貫教育での学びの充実
- <遠隔授業交流>
6. 外国語教育の推進
  7. 読書活動の充実

### ○心豊かな子どもの育成

1. 人に「感謝」できる心の育成
2. いじめを許さない学校づくり
3. 考えを深め心にひびく道徳教育の推進
4. きめ細かな教育相談の実施
5. 系統立てたキャリア教育の推進
6. マイスクール事業の推進

### ○地域とともにある学校づくり

（チーム朽木西）

1. 保護者や地域、関係団体・機関等との情報共有と信頼関係の構築
2. 学校運営協議会の運営と地域学校協働活動の推進

## <本年度の到達目標：数値目標等>

### ①TPOに応じたあいさつ、言葉遣いの定着

【毎学期末自己評価】

- ②長休み等を活用した全校での運動遊び【毎日】
- ③身の回りの整頓、生活リズム定着に向けた指導【毎日】
- ④「気づき、考え、行動する」の実践【毎学期末自己評価】
- ⑤保護者や地域・関係機関等との連携による実践的な防災・安全学習【年間4回】

### ①極少人数の良さを生かした授業改善(自学自習)と個に応じた指導の工夫(年間2回の授業研究会の実施)【100%】

### ②「授業が楽しい、勉強がわかる」児童の評価【100%】

効果的なICT機器の活用【随時】

- ③家庭学習の工夫と習慣化【家庭学習実行率100%】
- ④地域、自然、文化を生かした体験学習【年間7回以上】
- ⑤東小学校での交流学習・遠隔授業交流や中学校教員による教科担任制授業の実施【年間複数回実施】
- ⑥コミュニケーション能力の素地を培う外国語指導助手とのTT授業【(低10時間)・中35時間・高70時間】
- ⑦読書の質の向上
  - ・朝読の実施、家読の奨励、新聞記事の活用
  - ・「お気に入りの1冊」発表会【毎学期1回】
  - ・読書量の増加【月:(低10冊)、中5冊、高3冊以上】

### ①人に感謝し、感謝されることを喜びと感じる心の育成と仲間づくり【毎学期末自己評価】

### ②児童会によるいじめ防止の取組【毎学期1回】

### ③毎週金曜日4校時は全校道徳の時間。地域の人や保護者に参画いただく道徳授業の実施【年間1回】

### ④きめ細かな教育相談の実施と全職員による情報共有・対応【随時】

### ⑤「夢のファイル」等を活用したキャリア教育の推進【毎学期末自己評価】

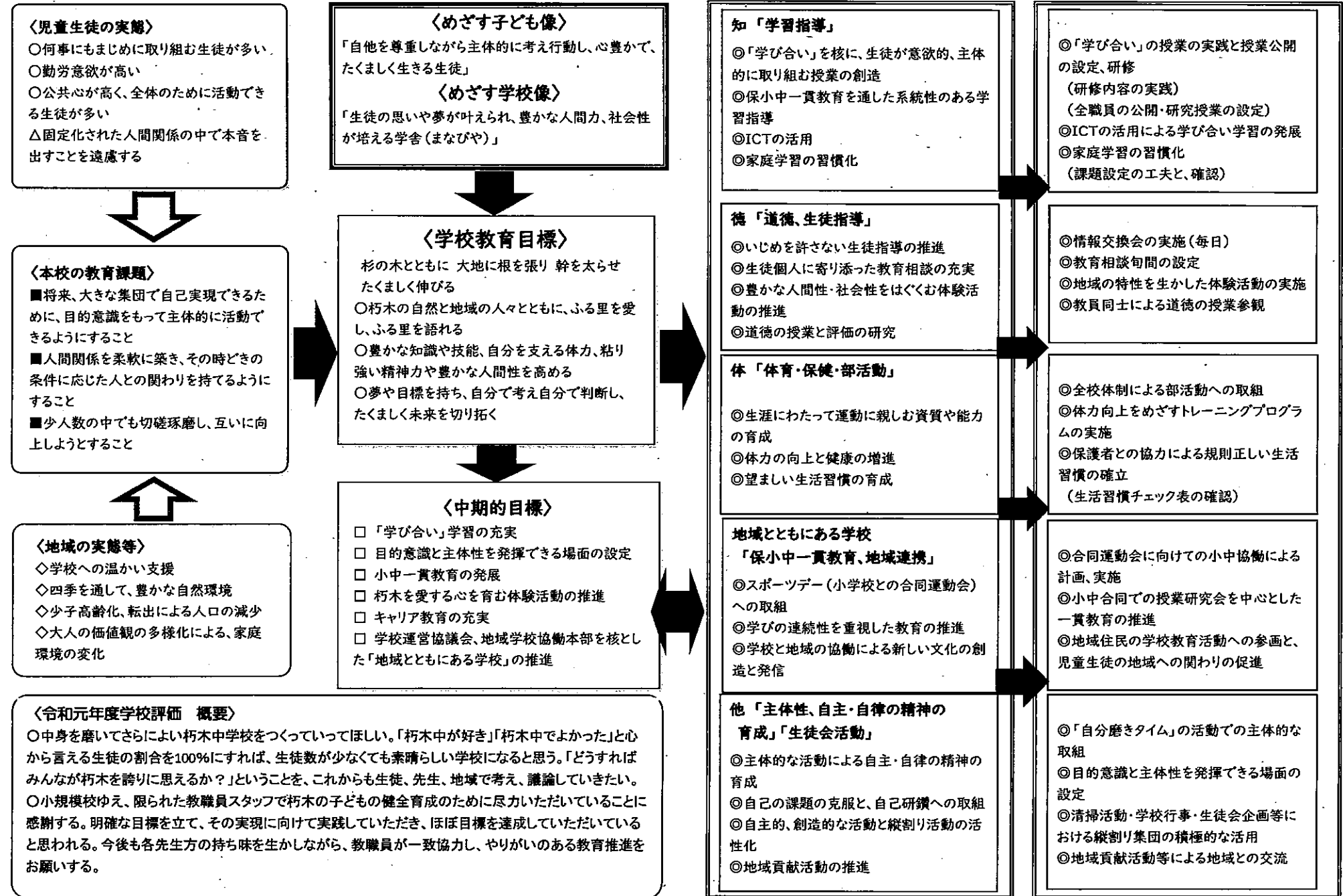
### ⑥和太鼓演奏の技能の向上とその成果の発表

【運動会・文化祭・感謝祭・交流事業等年間5回以上】

### ①保護者会・学校評価等でのニーズの把握と学校だより・HP更新による情報発信【随時】

### ②学校運営協議会での学校教育目標や経営方針等の共有、課題解決に向けた熟議【年間5回】

令和2年度 学校教育到達目標 高島市立朽木中学校



〈児童の実態〉

- ・素直で明るく、人なつこい面が多くある。
- ・与えられたことには、真面目に取り組める。
- ・主体的に取り組む力が弱く、根気が続かない。
- ・人間関係づくりに課題があり、適切なコミュニケーションが図れず、トラブルになる。

〈本校の教育課題〉

- ・各教科における基礎的・基本的学習内容を確実に身につける。
- ・広瀬小学校との統合5年目を迎え、伝統を保持するために、新たな文化を創造する。
- ・ソーシャルスキル、コミュニケーション能力を高め、よりよい人間関係を築く。
- ・コミュニティ・スクールとして、地域とともにある学校のさらなる推進を図る。

〈地域の実態等〉

- ・学校教育活動の推進に、理解と協力がある。
- ・PTA活動や学校行事には、積極的に参加され、協力的である。
- ・学校支援については、必要な時に必要な支援がある。
- ・保護者の価値観の多様化、生活基盤の脆弱化等、子どもに影響している。

【令和元年度学校評価の概要】

- ・(児童) 授業が楽しい、わかる86%、学校が楽しい86%、学校は居心地がよい81.5%
- ・(教師) 児童の自尊感情を高める働きかけ、基礎・基本の徹底と校内研究の推進
- ・(保護者) 学校に楽しく通っている96%、学校の学習を理解している89%、学校は困ったことを相談しやすい86%
- ・(地域) 地域の多くの者が、学校教育に関われるように計画的に担当者地域学校協働活動を進めてもらいたい。

〈めざす子ども像〉

- ・心豊かに明るく健康な子
- ・仲良く学び合う子
- ・失敗を恐れず挑戦する子
- ・自主的・主体的に行動する子

〈めざす学校像〉

- ・生きる力を育む学校
- ・学ぶ楽しさを実感できる学校
- ・安心、安全で居心地のよい学校
- ・地域から信頼される学校

〈学校教育目標〉

「豊かな心と自ら学び考える  
意欲をもつ 心身ともにたくましい  
安曇っ子の育成」

【合言葉】  
じょうぶで がんばる やさしい子

〈中期的(3年間)目標〉

- ・基礎、基本の確実な習得と、学び合いを活性化し、主体的、対話的で深い学びの創造
- ・読解力等言語力、活用力を高める授業の展開
- ・ICTの活用による、わかる、できる授業の創造
- ・道徳教育の充実で豊かな人間関係を育成し、いじめを絶対に許さない仲間づくりの推進
- ・健康、体力づくりと、豊かな心の育成
- ・小中一貫教育の推進による教育課程や生徒指導面での連携とキャリア教育の一貫した取組
- ・地域学校協働活動を核とした地域とともにある学校の推進

〈本年度の指導力点〉

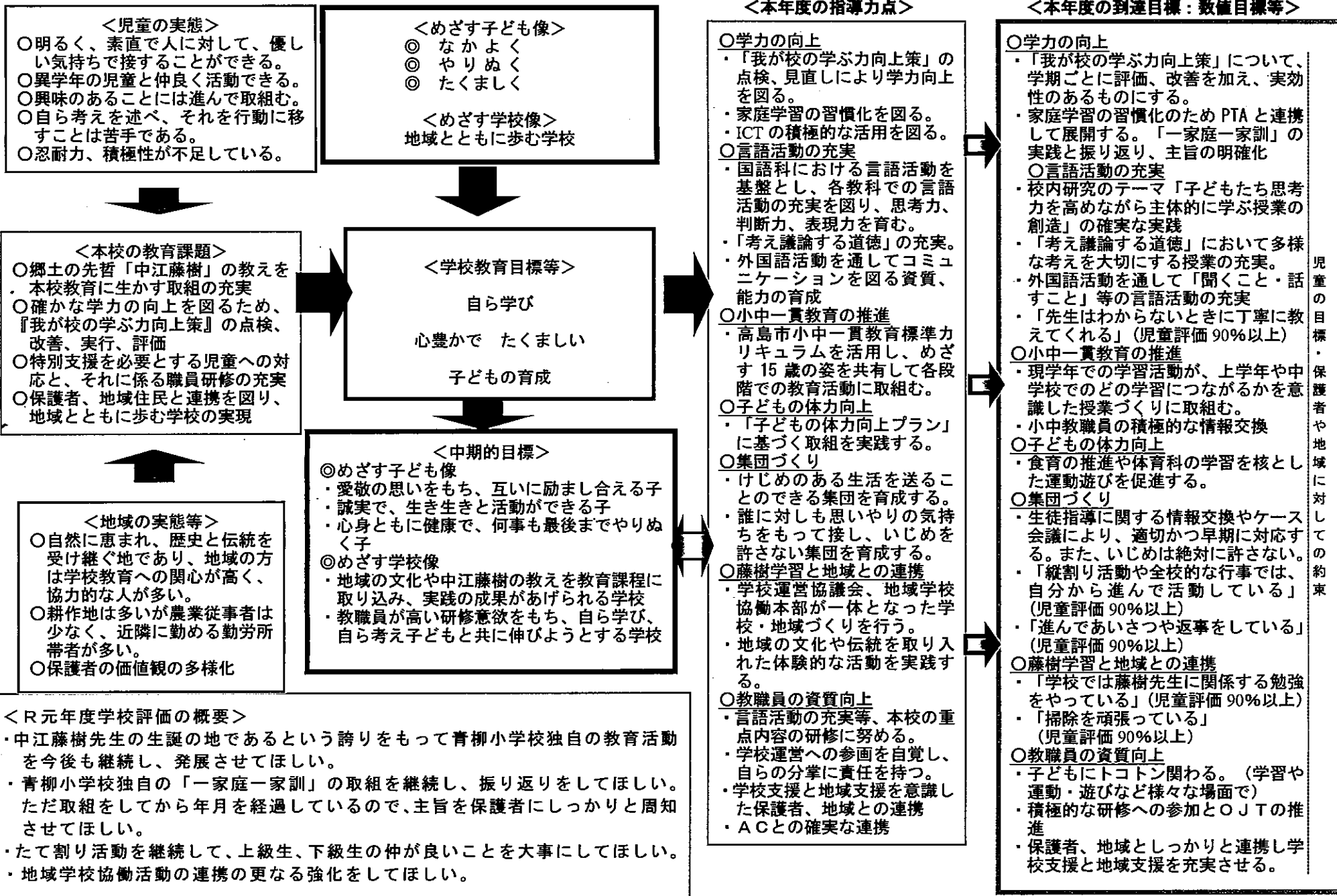
- 自ら学び考える教育の創造
  - ・魅力ある授業で、基礎的・基本的な学習内容の定着と主体的な学習の推進
  - ・ICTを活用した楽しく、わかる、できる授業の創造
  - ・リバーウォッチング活動や福祉学習を核とした生活科、総合的な学習時間の推進
  - ・読み解く力を育成し、自分の言葉で表現する子の育成
  - ・算数科パワーアップタイムによる、基礎基本の徹底
- 【学力向上ステージ⑧の具現化】  
【学力向上アクションプランの実践】
- 豊かな心と人間関係づくり
  - ・児童によるいじめ啓発活動
  - ・言葉遣いや言語環境の整備
  - ・心をつなぐあいさつ運動
  - ・インクルーシブ教育の推進
  - ・ソーシャルスキルとコミュニケーション能力の育成
  - ・教育活動全体を通じて、道徳科の充実と藤樹先生の教えに学び実践する心の教育の推進
- たくましい心と体づくり
  - ・業間運動、鉄棒や縄跳び、マラソン等の体力づくりの推進と自己の体力の課題改善に向けた取組
  - ・体育科授業での継続した取組
  - ・縦割り掃除の取組
  - ・食育の推進や早寝早起き等生活リズムの構築
- 小中一貫教育の推進
  - ・学力向上や生徒指導面での連携推進
  - ・児童にも教師にとってもメリットを感じる change for jumping
- 家庭、地域等との連携
  - ・学校便り等による保護者、地域への情報発信
  - ・学校運営協議会を基軸に地域学校協働活動の推進、学校関り人口の増加、つながり響き合う教育の実践

〈本年度の到達目標:数値目標〉

《確かな学力の向上》

- ・授業が楽しい、わかる  
児童評価 90%以上
- ・相手の話をしっかり聞ける  
児童評価 95%以上
- ・自らの課題に主体的に取り組む家庭学習と自主学習の習慣化。(家庭学習習慣)
- ・パワーアップタイムで基礎・基本が身についたと実感する児童評価 90%以上
- ・朝読書、図書貸出訪問、委員会活動による読書活動の活性化
- ・効果の上がる校内研究、校内研修とOJTの推進 (ICT・プログラミング等)
- 《豊かな心と人間関係づくり》
- ・学校が楽しい  
児童評価 90%以上
- ・学校、学級は居心地がよい  
児童評価 85%以上
- ・自分も他者も大切にする児童の育成
- ・いじめをしない、許さない児童の育成
- ・ソーシャルスキルトレーニングの実施
- ・自尊感情を育む、教職員働きかけ
- ・先生は自分の良いところを認めてくれる  
児童評価 90%以上
- ・個別の教育支援計画、合理的配慮に基づく、きめ細かな指導と支援の実践
- ・藤樹先生の教えに学び、よりよく生きる道徳教育の推進
- ・縦割り活動、ペア活動による良好な人間関係の育成
- ・発達段階に応じたキャリア教育の推進  
《たくましい健康と体づくり》
- ・高学年での体力の向上
- ・生活アンケート等による家庭への啓発と規則正しい生活習慣の確立  
《小中一貫教育の推進》
- ・小中合同学習は、中学校進学への不安解消に役立った。  
児童評価 95%以上
- ・部会の再編により、教師のつながり感を高める。
- 《家庭、地域等との連携》
- ・新たな学校支援ボランティアの発掘と組織化
- ・地域学校協働活動の一つとして広瀬学区でのマラソン大会の実施
- ・学校関り人口の増加のための取組

令和2年度 学校教育到達目標 高島市立青柳小学校



児童の目標・保護者や地域に対しての約束

<児童の実態>  
 ○健康で、伸び伸びと活動する。  
 ○異学年の子どもに優しく接するが、同学年の子どもには自己中心的な言動をすることがある。  
 ○指導は素直に受けるが、自ら考えて行動を起こすことが苦手である。

<めざす子ども像>  
 ・心身ともにたくましい子 ・自分の志を表現しようとする子  
 ・互いに認め合い、尊重し合う子  
 <めざす学校像>  
 ・安心、安全な学校 ・子どもが生き生き学ぶ学校  
 ・地域に根ざした信頼される学校  
 <めざす職員像>  
 ・専門性を発揮し組織内で協働する  
 ・使命感をもって研修に励む  
 ・自らの襟を正し、信頼を得る

<本校の教育課題>  
 ○児童の主体的な学びのある授業の工夫  
 ○主体的な姿勢でけじめのある生活を送り、思いやりの気持ちを表現できる集団づくり  
 ○課題がある児童への指導と支援、集団への適応力の育成

<学校教育目標等>  
**校 訓**  
**『たくましい子 本庄の心』**  
**「地域への愛着と誇りを持ち、地域を支えようとする意思と能力を持つ子ども」**

<地域の実態等>  
 ○滋賀を代表する自然遺産である琵琶湖に近く、豊かな自然環境に恵まれている。  
 ○学校の取組に理解があり協力的な保護者や地域の方々が多い。  
 ○農業や漁業との兼業、会社勤めが多くなっている。

<中期的(3年間)目標>  
 ○基礎基本の充実を図り、思考力を伸ばす。  
 ・言語にこだわった学習に力を入れる  
 ○自ら考え、ともに学び合う力をつける  
 ・自らの志を実現しようとする意欲を育てる  
 ○豊かな心、たくましい体を育てる  
 ・様々な体験を通して、心身ともにたくましい本庄

<令和元年度学校評価の概要>  
 ○子どもたちはのびのび育っていると思う。自分の思いをしっかりと伝え、人の意見に耳を傾けて考えられるようになってほしい。  
 ○先生は良いところを認めてくれると98%の児童が思っている。学校は楽しいと答えている要因の一つでもあると思う。  
 ○「ほんじょうカフェ」が開設しうまく活用できた。児童のためや地域の方の生きがいになるような活動を工夫してほしい。  
 ○授業参観や学校行事等に多くの保護者の参加があり良かった。祖父母や地域の方にも来てもらえるよう案内してほしい。  
 ○図書室リニューアルに伴い、図書ボランティアとぶっくママの方々連携し、児童の読書意欲が上がることを期待している。  
 ●挨拶、けじめ、後片付け等は、地域と学校ではやや違う。少人数によるなれ合いが心配。厳しさや優しさのある校風を期待。  
 ▲到達目標に漏れた一人二人の子が一番問題である。それらの子を支援するための教師の苦勞はたいへんであると思う。  
 ▲『働き方改革』の中で質を落とさず時間を減らすため十分に議論し、全体で子どもを育てる環境を作っていくことが大切。

学力向上のための力点  
 ○『読み解く力』の向上を図る授業  
 ○思考力育成の礎となる語彙力・表現力の向上  
 ○家庭学習の質の向上と定着  
 ○学年の発達段階に応じた読書  
 ○未来を見据えた教育の充実  
 外国語活動、キャリア教育、ICT活用、プログラミング教育

豊かな心を育むための力点  
 ○思いやりの気持ちを持ち、互いに協力し合える集団づくり  
 ○ふるさとの人材、先達の教えを基にした活動  
 ○自己肯定感を高める取組の工夫  
 ○人権意識を高める授業や取組  
 ○価値観を深める道徳授業の推進  
 ○道徳的価値感を意識した教育活動

たくましい心身を鍛えるための力点  
 ○より高く目標を設定し、その達成に向かって努力する児童の育成  
 ○「早寝・早起き・朝ご飯」、「挨拶・返事・靴揃え」の習慣の定着  
 ○勤労体験学習の工夫と充実  
 ○「自分の命は自分で守る」行動が主体的にとれる意識の向上

地域とともにある学校  
 ○学校運営協議会、地域学校協働活動の推進  
 ○保護者や地域の方々が見学や参加がしやすい取組の推進  
 ○学校からの積極的な情報発信  
 ○安心、安全な学校づくり

保小中の一貫した連携強化  
 ○小中学校への円滑な進学を目指した体験入学・合同学習の工夫  
 ○小中合同による研究授業の実施

○学力の向上  
 ・「学習が分かる」 (90%以上)  
 ・「授業が楽しい」 (90%以上)  
 ・「学習したことは、将来役に立つ」 (90%以上)  
 ・話し合いを中心にした授業で一人一発言以上  
 ・研究授業、公開授業の実施  
 ・家庭学習の習慣化(低学年:20分、  
 中高学年:10分×学年)  
 ・読書量(低:200冊、中:250冊、高:300冊)  
 ・読書チャレンジの実施

○豊かな心の育成  
 ・学級が楽しい、学校へ行くのが楽しい (100%)  
 ・相手を大切に、呼び捨てをしない (90%以上)  
 ・地域が好きで、誇りを持っている (90%以上)  
 ・道徳の授業は楽しい (90%以上)  
 ・目的やめあてを意識して活動に取り組んだ (90%以上)

○心身のたくましさ  
 ・自己目標(マラソン、遠泳)を達成することができた。 (90%以上)  
 ・「早寝・早起き・朝ご飯」、「挨拶・返事・靴揃え」の習慣が身に付いている。 (90%以上)  
 ・自分のことが好き。 (90%以上)  
 ・学校は安心である。 (100%)

○保護者や地域との連携  
 ・学校運営協議会の実効的な運用  
 ・授業参観、学校行事への保護者参加 (90%以上)  
 ・学校・学年だより等により、学校や児童の様子が分かる。 (90%以上)  
 ・毎月の安全点検の実施  
 ○保小中の連携強化  
 ・中学校進学への不安を感じていない児童 (90%以上)  
 ・小中合同の研究授業の効果を感じている教員 (90%以上)

＜生徒の実態＞

- ・素直で明るく、物事にまじめに取り組める生徒が多い。
- ・学習にも一所懸命取り組み、授業にも意欲的に参加している。
- ・学校や集団にうまく適応できない生徒や人間関係をうまく構築できない生徒もいる。

＜めざす生徒像＞

- ・良知の心を育て、正義を行動で示すことができる生徒
- ・人との関りを通して、認め合い励ましあえる生徒
- ・自分の才能を開花させるための努力を惜しまない生徒

＜本校の教育課題＞

- ・基礎・基本の定着や活用力の向上を目指した指導方法の工夫が必要である。主体的・対話的で深い学びのある授業づくりを推進する。
- ・特別な支援を必要とする生徒への対応できる学校体制を確立する必要がある。
- ・コミュニティスクールを確実に進める。

＜学校教育目標＞

『確かな知性 かがやく良知 たくましい心身』

＜校訓＞

『一生懸命』一学ぶ・動く・つながる

＜地域の実態等＞

- ・学校教育に対する関心は高く、教育活動に協力的である。
- ・地域には、温かく支持的なよさがあふれている。
- ・経済的に不安定な家庭もあり、教育力に格差が生じてきている。

＜中期的（3年間）目標＞

地域に誇りと愛着をもち  
地域に役立ち 貢献できる生徒の育成

＜R1年度：学校評価の概要＞ 小中一貫教育について、合同学習や部活動体験、中学生との交流については高評価だったが、小中9年間で一貫性のある指導の充実には課題を残した。学び合い学習による授業改善については2年目を迎え、校内研を核に教職員が一丸となって推進したことは評価が高く、今後も生徒の学ぶ力を高めることや基本的な生活習慣（学習習慣）を定着させること、学力向上に尽力してもらいたいとの要請があった。教育課程の改善に伴い「ソールドびわ湖を新しくキャリア教育をベースにした事業にすることについて大いに期待をしている。」との回答を得た。生徒指導（いじめ対応）について1年間詳細な状況を伝え続け、学校全体の指導体制や関係機関との連携、課題生徒のニーズに応じた適切な支援を行い、大きな評価を得た。運営協議会委員から生徒会の活動は保護者や地域、小学生からの注目を浴びていると伝えてもらった。働き方改革について、部活動や生徒への配慮など教員の多忙さに対する理解を得た。コミュニティスクールや地域学校協働活動については生徒との交流やボランティア精神の向上を柱に安中カフェ・地域ボラセンやボランティア祭りなどの新たな取組への評価と、今後への期待と共に学運協委員の方々の支援について前向きな回答を得た。

＜本年度の指導力点＞

小中一貫教育の推進

- ・小中一貫した児童生徒の交流と学習指導を充実する。

確かな学力を育成

- ・生徒の学ぶ力を高める授業改善を推進する。
- ・主体的・対話的で深い学びのある授業を展開する。
- ・学力向上スタンダード8の実践

豊かな心を育む

- ・豊かな情操や規範意識、社会性、人を思いやる心を育成する。

健やかな体を育む

- ・体力向上と健康の保持増進の基礎となる力を育成する。

支持的風土のある集団づくり

- ・すべての子どもの多様性が認められる豊かな人間関係を育む集団づくりを推進する。

地域とともに歩む学校づくり

- ・学校・家庭・地域が連携し、子どもを育てる体制を構築する。

＜本年度の到達目標：数値目標等＞

- ・年間2回の小中学校をつなぐ児童生徒の交流活動に取り組みます。
- ・小中学校教員による教科部会を機能させ共同研究等の取組を推進します。
- ・学力向上アクションプランに基づき、学力向上を図ります。
- ・学び合い学習を取り入れた授業を教員全員が実践します。  
(授業が分かる：生徒 80% 保護者 60%)
- ・校内研究を推進する。年間3回の授業研と全教員の授業を公開する。
- ・道徳の時間の内容の充実を図るとともに、心と行動の変容を捉える評価の研修を推進します。
- ・体験活動を通して、豊かな心を育みます。  
1年：地域探訪  
2年：キャリア学習  
3年：体験的進路学習
- ・保健指導、性教育、がん教育など、健康の保持増進に特化した授業を行う。
- ・校友会や学級活動を柱にして支え合い高め合える集団づくりを推進します。  
(学校は楽しい：生徒 90% 保護者 80%)・人権意識を高め、思いやりのある良好な人間関係を育みます。  
(いじめを許さない：生徒 90%)  
(学級はまとまりがある：生徒 80%)
- ・学校運営協議会と地域学校協働活動をタイアップして、地域教材や人材の活用を推進し、生徒の育ちを支援します。
- ・安中カフェを進化させ、生徒との交流を深めます。

生徒の目標

保護者や地域に対しての約束

# 令和2年度 学校教育到達目標

# 高島市立高島小学校

**<児童の実態>**  
 児童は明るく、個々に課題のある子も存在するが、真面目に一生懸命取り組むことができる。人間関係がこじれたり、偏った見方がされたりすると、その関係は固定化されてしまうことがある。このような中で自己表現が苦手な思いをうまく相手に伝えられなかったり、自分本位の判断をしたりして、よりよい人間関係を築けないことがある。

**子ども像**  
 ○たくましく元気な子  
 ○かっこいい判断ができる子  
 ○しっかり聴いて、よく考える子  
 ○まわりを思いやる子

**学校像**  
 ○学びを大切にしている学校  
 ○心を磨き高め合う学校  
 ○つながりを大切にしている学校  
 ○地域とともにある学校

**<本校の教育課題>**  
 縦をつなぐ小中一貫教育を通して、自ら学び、正しく判断し、実践できる力と豊かな心を育み、横をつなぐ地域とともにある学校づくりにより、保護者や地域に信頼される学校を創造する。

**<学校教育目標>**  
 確かな学力と豊かな心を身につけ、たくましく未来を拓く子どもの育成

**<地域の実態等>**  
 ○農山村部に位置し、新興住宅はあるが人口は減少傾向にある。  
 ○核家族や両親共働き家庭も多く、自宅に帰っても児童だけになったり、地域が広範囲のため群れて遊ぶ姿が見られなくなったりしてきた。  
 ○保護者・地域の方の学校教育への関心は高く、協力的である。

**<中期的【3年間】目標(中間年)>**  
 ○「主体的、対話的で深い学び」の実現をめざし、カリキュラムマネジメントに基づく授業改善を図る。  
 ○基礎基本の習得を徹底し、学び方を身につける。  
 ○道徳教育を基軸に児童の個性や可能性を最大限に伸ばす指導を進める。  
 ○児童理解を深め、人間的ふれあいを基調にした指導の充実を図る。  
 ○児童の自主的体験的な活動を重視する。  
 ○家庭・地域との連携を密にし、開かれた学校づくりに努める。

**<令和元年学校評価 概要>**  
 ○小中一貫教育の推進  
 【わかる授業: B73%(保)、楽しい学校: B84%(児)、ICTを活用した授業: B63%(教)】  
 ○学力の向上【家庭学習の目標時間達成: B 81%(児)/74%(保)、読書活動: B 65%(児)45%(保)】  
 ○豊かな心の育成  
 【話し合い聴きあいの授業: 87%(児)、行事や体験的な活動への期待: 73%(児)/90%(保)】  
 ○豊かな人間関係づくりと社会性の育成  
 【いじめのない学校づくり: 93%(児)/78%(保)、進んであいさつする: B 88%(児)/69%(保)】  
 ○児童の自主的体験的な活動を重視する。  
 【家庭での手伝い: B 73%(児)/65%(保)、学校でのそうじや当番活動への取組: 95%(児)】  
 ○開かれた学校づくり  
 【地域と連携した教育活動: B 82%(保)、学校・学年・学級だよりの効果: B 88%(保)】

## 【本年度の指導力点】

○確かな学力の定着のための力点  
 ・タブレット等のICT機器を活用した指導の工夫改善を進める。  
 ・「家庭学習の手引き」による指導を進め、ゆめノートを活用した自主学習の習慣を確立させる。  
 ・読書指導と読書環境の充実により、読書活動活性化する。

○豊かな心の育成のための力点  
 ・特別の教科「道徳」の充実と努め、自分事として生き方を見つめる道徳教育を推進する。  
 ・キャリア教育の視点を生かし、生き方を考える教育を推進する。  
 ・芸術や講演などの機会を通じて、心を耕し、豊かな感性を磨く教育活動を展開する。

○望ましい人間関係を土台にした生徒指導の推進のための力点  
 ・人権意識の高い、いじめを許さない集団づくりのために、年間を通じて人権教育の充実に取り組む。  
 ・相手の立場を尊重し、礼儀正しい節度ある生活態度(あいさつ、時間を守る、掃除)を育成する。

○健康な心と体の育成のための力点  
 ・自らの命を大切にし、健康で安全な生活の実現を目指し、行動しようとする態度を育成する。  
 ・基本的な生活習慣の確立をめざし、睡眠と食に関する指導を充実する。

○小中一貫教育の推進  
 ・小中合同授業研究会の充実を図る。  
 ・小中連携を推進するために、教員の交流指導を拡充する。  
 ・第1st、第2st、第3stのステージ活動と全校縦割り活動の中で、主体性を引き出す児童生徒活動の推進する。  
 ○地域とともにある学校  
 ・学校運営協議会の運営と地域学校協働活動事業の実施により、  
 ・「つながり響き合う教育」の具現化を図るため、協働して地域全体で子どもたちの成長を支える風土を醸成する。

## 【到達目標・数値目標】

・小中教員の交流授業の拡充により、教材研究を充実させ、指導方法の改善を加速し、学力の向上を図る。  
 【授業でのタブレット活用100% (教師)】  
 【「わかる授業」85%以上 (児童)】  
 ・ゆめノートを活用した家庭学習の充実に取り組む。  
 【家庭学習の時間を達成した児童が85%以上】  
 【1・2年:30分、3・4年:30~50分、5・6年:60~70分】  
 ・年間1・2年50冊・3・4年30冊・5・6年20冊以上読書  
 【読書活動 70% (児) 50% (保)】

・キャリア教育の視点を生かした道徳カリキュラムの作成(別様を含む)を図る。  
 ・道徳の教材開発と家庭地域と連携した道徳教育を推進する。【家庭での手伝い: 80% (児) /75% (保)】  
 ・各ステージの活動を充実させるとともに、ステージを越えた児童生徒の交流、教職員の交流を推進する。  
 【九九道場、読み聞かせ、1/2成人式、MyCity高島】  
 ・全校の前で自分の考えや思いを発表する機会を増やす。  
 ・文化芸術に直に触れ、豊かな情操を養う。

・「ゆめタイム」や児童集会、行事等を通じて、友達や多様な人々との交流の機会を増やす。  
 【「学校が楽しい」85%以上 (児童)】  
 ・いじめのアンケートや啓発によるいじめ未然防止。  
 【いじめ認知件数10%減少】  
 ・人権意識を高めるための日常的な指導を充実する。  
 ・縦割り遊びや縦割り掃除を設定し、望ましい縦割集団と真面目に取り組む態度を育成。  
 【あいさつ、時間、そうじ85%以上 (児童)】

・手洗い、うがい、歯磨きの実施100% (児童)  
 ・部活動体験を拡充する。  
 【増加率 参加者20%、実施回数30%】  
 ・PTAとの協働活動として、『ノーテレビデー』の取組を定着させる。  
 ・食育や睡眠の大切さを理解させ、基本的な生活習慣を確立するための指導として生活に生かす。

・「主体的・対話的に学びを深める子の育成」をテーマに小中合同授業研究会を充実させる。  
 ・小中教員の交流授業を進め、小学校の教科担任制と中学校での複数指導の拡充を図る。  
 中学校授業に小学校教員4名参加  
 ・学校運営協議会を定期的に開催し、評価をPDCAに生かして地域学校協働活動との連携を図る。  
 ・地域人材交流の場として、空き教室を活用し、地域人材交流の場とする。また、学校・学園情報を定期的に発信し、地域の人々の来校機会を数多く設定する。  
 ・地域コーディネーターをもとに、地域のネットワーク化を図り、地域人材を積極的に活用して、教育力の向上を図る。



〈生徒の実態〉

- ・明るく人なつこい。
- ・落ち着いた学校生活を送っている。
- ・役割をしっかりと果たす。
- ・やや自主性に欠ける。
- ・コミュニケーション力等の人間関係構築力が十分でない。

〈めざす子ども像〉

た くましく元気な子  
か しこい判断ができる子  
し っかり聴いて、よく考える子  
ま わりを思いやる子

〈めざす学校像〉

- ◎学びを大切にする学校 ◎心を磨き高め合う学校
- ◎つながりを大切にする学校 ◎地域とともにある学校

学力向上のための力点

- ・生徒指導の機能が働く授業
- ・「読み解く力」の視点を踏まえた授業
- ・ICT機器の活用、思考ツールの活用、グループでの活動の導入等の工夫を図り、思考・判断・表現する力の育成を図る。
- ・家庭学習の方法や課題についての工夫

●学校生活が楽しく充実していると感じる生徒

●授業がわかりやすいと感じる生徒

●意欲的に学習に取り組める生徒  
【いずれもA・B評価で80%以上】

●家庭学習に意欲的(7年生70分、8年生80分)

〈本校の教育課題〉

- ◎学力向上、授業改善
- ◎道徳教育の推進
- ◎いじめを許さない集団づくり
- ◎組織的な生徒指導の推進
- ◎主体的な生徒会活動の推進
- ◎地域学校協働活動の推進

〈学校教育目標〉

確かな学力と  
豊かな心を身につけ、  
たくましく未来を拓く

豊かな心の育成のための力点

- ・社会性が身につく指導の強化
- ・生徒へ関わるスキル向上のための研修
- ・道徳科の授業改善
- ・学校教育全体における道徳教育の充実
- ・道徳科と教科等とを関連づけ、9年間を見通した年間指導計画を作成する。

●清掃活動に協力して取り組める生徒

●家庭、学校、地域であいさつができる生徒

●時間が守れる生徒  
【いずれもA・B評価で80%以上】

●学校生活が楽しく充実していると感じる生徒【A・B評価で80%以上(再掲)】

●教員が親身になって質問や相談に応じてくれると感じている生徒

●道徳科の授業でよく考える生徒

〈地域の実態等〉

- 農山村部に位置し、新興住宅はあるが、人口は減少傾向にある。
- 核家族や両親共働きの家庭も多く、祖父母の関わりが少なくなってきたこともあり、家庭の教育力が低下している場合もある。
- 保護者・地域の方の学校教育への関

〈中期的目標〉

- 「主体的、対話的で深い学び」を実現するカリキュラムマネジメントに基づく授業改善
- 学習規律および基礎基本の習得の徹底
- 道徳教育を基軸とした個性や可能性を最大限に伸ばす指導の充実
- 確かな生徒理解と組織的な生徒指導の充実
- 生徒の主体的な活動の充実

健やかな身体の育成のための力点

- ・部活数を削減し、再編することにより、部活動の充実を図る。
- ・明確な目的のある自然体験活動等の体

●行事や部活動に満足している生徒

●体験学習や体験活動に満足している生徒  
【いずれもA・B評価で80%以上】

●学校生活が楽しく充実していると感じる生徒

〈R元 学校評価 概要〉

- 学力 (B) …学校生活の充実 (A) 授業がわかる (A) 学習意欲 (B) 家庭学習 (C)
- 豊かな心 (A) …清掃活動 (A) あいさつ (B) 教員の熱意 (A) 学校生活の充実 (A) 道徳教育 (A)
- 健やかな身体 (A) …行事・部活動 (B) 体験活動 (A) 学校生活の充実 (A)
- 地域とともにある学校 (B) …情報の公開・発信 (B) 地域貢献活動 (A)

地域とともにある学校

地域住民の招へいと持続可能な、生徒による地域貢献活動の実現

小中一貫教育の推進

各ステージの活動の在り方や内容を再

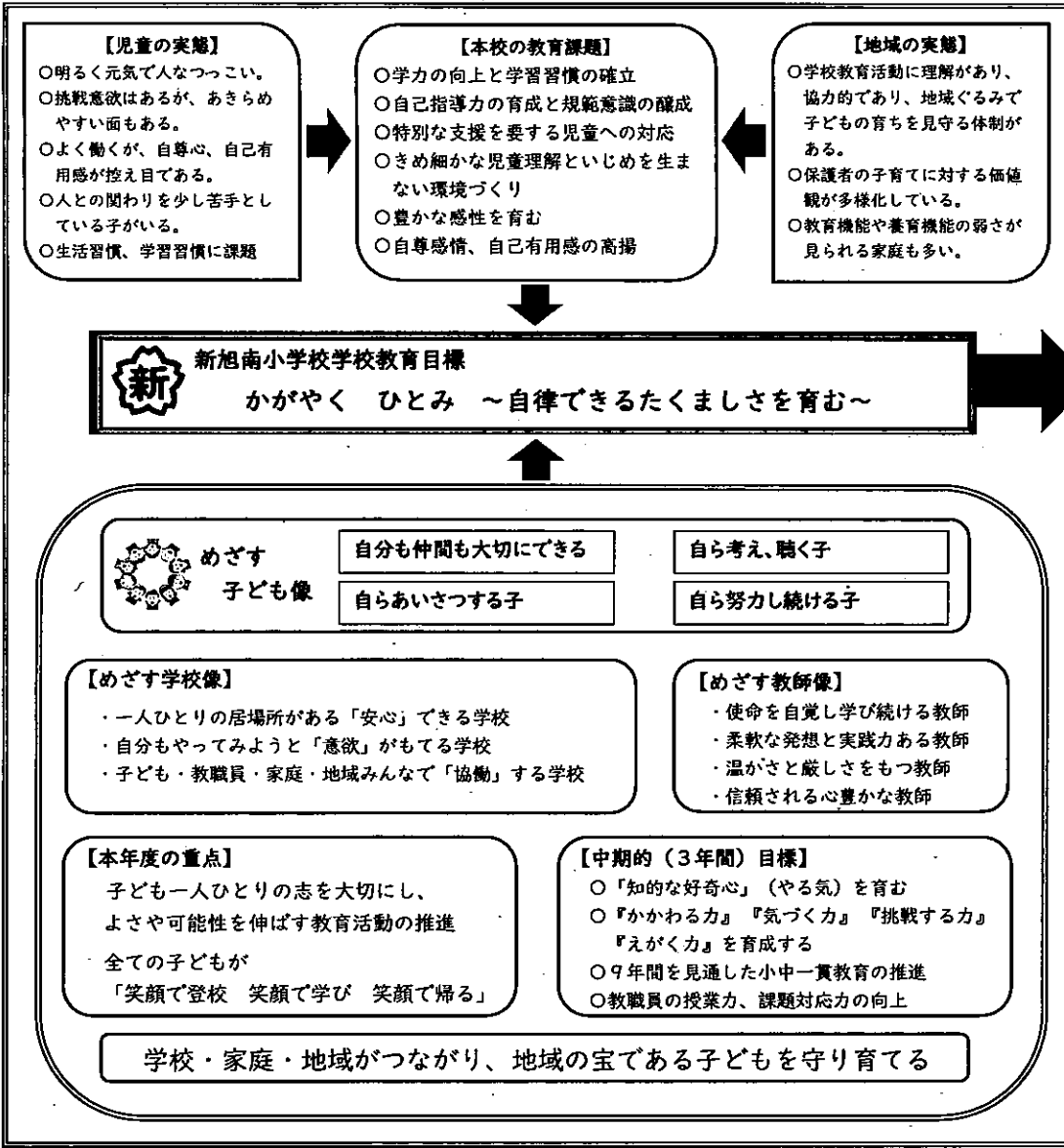
学校運営協議会で・・・

地域学校協働活動における地域人材の積極的な活用、地域貢献活動の推進を検討する。

●地域の行事やボランティア活動に参加する生徒【A・B評価で80%以上】

小中合同による・・・

- 「My City高島」の再構築
- 第3ステージの活動の再構築
- 道徳科の授業でよく考える生徒



**【本年度の指導方針】**

**学ぶ力の育成**

- ◎全員参加の授業づくり（授業改善）
  - ①魅力ある学習課題、導入、発問の工夫
  - ②考えを広げ、深める対話の工夫
  - ③「聴く力」「話す力」「伝え合う力」「読み解く力」の育成
- ◎基礎・基本の定着
  - ①学ぶ力向上策の実施
    - つけたい力の明確化
    - 個に応じたきめ細やかな指導
      - ・授業のユニバーサルデザイン化
      - ・ICT機器の効果的な活用
  - ②学習規律、学習習慣の確立
    - 学習に向かう構えづくり
    - 学習環境の整備
    - 読書活動の充実
    - 宿題の出し方、評価の仕方工夫

**豊かな心の育成**

- ◎互いの違いを認める心の育成（人権教育）
  - ①「I」を伸ばす：自己成長
  - ②「We」の世界を広げる：人と社会との関わる力を伸ばす
  - ③居心地の良い学級、学校づくり
- ◎思いやりの心を育む（道徳教育）
- ◎豊かな人間性、社会性を育む（キャリア教育）
  - ①役割や責任を果たし、役に立つ喜びを体得し、集団の中で自分を生かす。
  - ②多様な人との関わる体験活動の充実
  - ③主体性を育む
- ◎特別でない特別支援教育の推進
  - ①子どもを見取り、寄り添い、子どもにとって一番良い方法を考え対応する
- ◎凡事徹底の学校風土の構築
  - ①当たり前のことが当たり前に見える子へ
  - ②こころ磨き掃除の定着

**たくましい心身の育成**

- ◎健康への意識向上
- ◎バランスのとれた体力の育成
  - ①魅力ある体育授業（授業改善）
  - ②運動に親しむ環境づくり
- ◎自分の安全を守る意識と力の育成
- ◎やり切る姿勢（やり抜く力）を伸ばす

**教職員の教育力を高める**

- ◎学び続ける姿勢と学び合う教職員集団
- ◎「チーム」で勝負する教職員集団
- ◎地域とともにある学校づくり
  - 学校の視野を広げ、幅広い見方からの意見を適切な判断の参考にする。
  - 協働、相互参画による教育活動の充実

**【到達目標・数値目標】**

**学ぶ力の育成**

- ◎全員参加の授業づくり（授業改善）
  - ※教えずきない授業
    - ①児童、保護者の授業評価 90%以上
    - ②授業改善への自己評価 90%以上
    - ③つなぐ役割の自覚 80%以上
    - ④聴き合う教室の実現 80%以上
- ◎基礎・基本の定着
  - ※授業のユニバーサルデザイン化
    - ①各学年のつけたい力の作成
    - ②学習意欲の向上 90%以上
    - ③ICT機器の活用
  - ※学習規律、学習習慣の確立
    - ①学習に向かう構えづくり 90%以上
    - ②家庭学習を進んでする 90%以上
    - ③平日30分以上の読書 50%以上
    - ④きめ細やかな指導 85%以上

**豊かな心の育成**

- ◎互いの違いを認める心の育成（人権教育）
  - ①学校が楽しい 90%以上
  - ②良いところがある 90%以上
  - ③仲の良い友だちがいる 90%以上
  - ④仲間外れ、いじめなし 90%以上
- ◎思いやりの心を育む（道徳教育）
  - 年1回以上の道徳授業の公開
- ◎豊かな人間性、社会性を育む（キャリア教育）
  - ①個の自立と集団力の向上 90%以上
  - ②特別活動、学活の充実
  - ③振り返りアンケートの実施
- ◎特別でない特別支援教育の推進
  - 個別の支援計画の活用
  - 教育支援委員会の充実
- ◎凡事徹底の学校風土の構築
  - ①しっかり挨拶ができる 90%以上
  - ②こころ磨き掃除 90%以上

**たくましい心身の育成**

- ◎健康への意識向上
  - ①健康安全に気をつける子 85%以上
  - ②早寝・早起き・朝ご飯 95%以上
- ◎バランスのとれた体力の育成
  - 進んで運動に取り組む子 85%以上
- ◎やり切る姿勢（やり抜く力）を伸ばす
  - 最後までがんばる 85%以上

**教職員の教育力を高める**

- ◎週1回の教務部会の実施
- ◎学校運営への参画意識向上
- ◎定期的なOJT研修の実施
- ◎地域とともにある学校づくり
  - 学校運営協議会の効果的な開催
  - 南小夢の会の会員増

**令和元年度 学校評価の概要**

- ◎学ぶ力の育成 授業が分かる（B） 話を聞く（B） 家庭学習（C） 読書習慣（C） 授業改善（B）
- ◎豊かな心の育成 いじめのない学校（B） あいさつ（B） こころ磨き（B） 自己肯定感・自己有用感（B）
- ◎たくましい心身 体力の向上（B） 望ましい生活習慣（C） 食育の推進（B）
- ◎保護者、地域との連携アップ：地域のボランティアが学校にどんどん入っていくことで地域と学校が一体化してきた

**〈児童生徒の実態〉**

- ・素直でやさしい。
- ・学習や仕事に真摯に取り組む。
- ・異年齢の結びつきが強い。
- ・気力や自主性に弱さがある。
- ・学力や体力に二極化の傾向がある。



**〈本校の教育課題〉**

- ・「家での勉強をしっかりとっているか」(子どもの達成率85% 保護者の意識74%)達成できない児童・家庭への啓発。
- ・自分からあいさつができた。(子ども87%、職員55%)意識に差。「相手の顔を見て」・「誰にでも」を克服。
- ・学級文庫に必読書を、図書室の整備により、「本をたくさん読んだか」(子ども70%)を上げる取組が必要。



**〈地域の実態等〉**

- ・豊かな自然、文化に恵まれ、古くからの風習が息づく地域である。
- ・地域の人々は温厚であり、教育に対する関心が高く、協力的である。
- ・児童数の増減の地域による差異が大きい。

**〈R1学校評価 概要〉**

- ・「授業改善(児童の主体的な学び等)を意識して授業に取り組めた。」(職員評価94%)と意識の高まりがみられる。
- ・「小学校サポートバック事業」に取り組み、国語の研究を深めた。道徳の研究授業も計画的に行い、教育研究所からも指導を仰ぎ研究の深まりが見られた。
- ・人権集会や毎月の「人権の日」の設定を行い、機会を捉えて指導をした。いじめ、仲間外れにしない(子どもの意識90%)、仲の良い子がいる(保護者97%)。
- ・むし歯の治療勧告率は34.1%。今後はフッ化物洗口の効果を検証する必要がある。受診率は64.5%(H30)72.8%(R1)と改善された。
- ・地域学校協働本部と「北小希望の会(保護者ボランティアの会)」は会員が増え、ボランティア活動の内容も充実してきた。
- ・学校だより、学年だより、学級だよりをタイムリーに発行し、学校の様子を伝えた。緊急時のメール配信も有効にできている。(保護者94%)

**〈めざす子ども像〉**  
自ら進んで、あいさつする子  
いじめをしない、許さない子  
自分で考え、行動できる子  
進んで元気に遊ぶ子  
一生懸命に掃除をがんばる子

**〈めざす学校像〉**  
互いに笑顔で向き合える学校  
個々の良さを認め、自覚できる学校  
心が通い合い、思いやりのある学校  
「やろ」とする意識「できる楽しさ」を  
「わかる喜び」が体験できる学校

**〈めざす教師像〉**  
笑顔と絶やさず、元気を出して支持的な学級集団をつくる  
子どもと向き合い、ともに活動をする  
人権感覚を高め、子どもを見守る  
専門性を生かし授業力の向上を図る  
学び合い、高め合う雰囲気のある教師集団

**〈学校教育目標〉**  
自ら学ぶ子どもの育成

“夢や目標に向かい、  
仲間と学び合い、  
支え合う子ども”

**〈中期的目標〉**

- ・豊かな人間性、自主性、社会性の育成と学力向上  
(生活習慣・学習習慣の確立)
- ・教員の専門性の向上  
(ファシリテーション力・探究的授業へ対応)
- ・地域住民とともに意識改革  
(地域住民との協働、地域とともにある学校)

【本年度の指導力点】

【到達目標・数値目標】

**つながり響き合う教育の推進**

- ☆ タテのつながり  
湖西中学校区保幼小中一貫教育の推進  
『学び合い』に視点を当てた授業・保育交流の推進  
子どもの交流活動の充実
- ☆ ヨコのつながり  
地域学校協働活動の活性化  
地域と学校が一体となって子どもを育てる意識の醸成  
地域住民の学校運営への参画
- ☆ 未来とのつながり  
将来を見据えた教育活動の展開  
キャリアパスポートの活用により自分の未来を描く  
社会や団体への貢献を感じる活動の展開

**つながり響き合う教育の推進**

- ☆ タテのつながり  
「保幼小中一貫教育を有意義に感じ、積極的に取り組んでいる。」および「つながりを意識して自己の授業づくりに取り組んだ」(職員評価)で90%。
- ☆ ヨコのつながり  
学校運営協議会委員の学習・学校生活参観を3回以上実施し、子どもたちとふれあい、活動につなげる。  
教職員の地域活動への参加を各自1回以上実施する。
- ☆ 未来とのつながり  
各学年、学期ごとに「キャリア教育の視点を生かす重点単元」を指定し、指導する。郷土の良さを学ぶ(藤本太郎兵衛、針江かばた、高島西)に積極的に取り組む。

**やさしい子 かしい子 強くたくましい子の育成**

- ☆ やさしい子  
思いやりのある、差別やいじめのない学校づくり  
基本的な生活習慣・行動様式の定着
- ☆ かしい子  
学習規律を整え、秩序を大切に授業づくり  
ペアやグループで主体的に学び合う言語活動の充実  
「読み解く力」を重点においた授業づくり
- ☆ 強くたくましい子  
遊びを通じた仲間づくりと体力づくり  
運動能力向上の全校的な取組の推進  
「早寝早起き朝ご飯」の推進

**やさしい子 かしい子 強くたくましい子の育成**

- ☆ やさしい子  
たてわり活動・あいさつ運動・読書活動を推進する。  
「時と場に応じた言葉遣いができている」(子ども90%、教師70%)
- ☆ かしい子  
「学習規律(聞く・話す等)が定着し、学習にメリハリがきている。」「授業改善(児童の主体的な学び、AL等)に取り組んでいる。」(ともに教師95%)  
全学年でガッテンプリントを活用する。
- ☆ 強くたくましい子  
体育の時間5分間体力づくり なわとび マラソン強化月間等を継続するとともに、体育の宿題に年間を通して取り組む。  
保護者評価 90%以上。

**学習内容の完全履修**

3~5月の臨時休業による学習内容の遅れの克服

**学習内容の完全履修**

現学年の学習内容を達成する。(土曜日授業や放課後授業に全学年で取り組む)

